

地蔵通り、メルヘン商店街

作 丸尾 聰

○この台本は、何度か書き直され、「かわさき演劇まつり」という市民参加型の公演で使用されたものが、今回の台本である。登場人物は、上演にあたって適宜変更してもらつても構わない。特に、「さすらいの腹話術師+ゴローチャン」は、たまたまメンバーに腹話術師の城谷護さんがいたので加えたのである。違う人物を加えたり、カットしてもらつても構わない。

登場人物

○八百庄（八百屋）
板東猛（高校三年）
板東沙織（23）
板東哲（59）
板東雅美（小学生）

○北沢豆腐店
北沢真（高校三年）
北沢清（48）
北沢晶子（39）

○K & A フラワー
キヨコ
アケミ

草脇源三

（ゲンちゃん

履物屋

草脇）

徳 奈津唐洋二郎 (コロッケ屋 徳)
(36 A Bマート地蔵通り店店長)

○ドラゴン亭

ラーメン屋
ラーメン屋の奥さん

竹内美佳子 (高校三年 竹内書店の娘)
林沙也加 (中学生 林文具店の娘)

○ふるや (駄菓子屋)

古谷昭雄 (48)
(79)

橘敬子
岡島みち

西田浩明
坂上あきら
北沢春子 (26)

新聞記者

さすらいの腹話術師 + ゴローちゃん

とき

現代。少し懐かしい感じはするが・・・

ところ

都會から少し離れた、日本のどこにでもある・・・

一、オープニング

サラリーマン風の若い男（坂上あきら）、都會の波の中を歩いている。
ふと立ち止まり、ポケットからチラシを取り出す。

坂上
(チラシを見て)忘れていた落とし物がこんなところにあつた・・・、夢、
一緒に探しに行こう・・・(いつたんチラシを丸め捨てようとするが思い直し
て、もう一度目をやり) 地蔵通り、メルヘン商店街・・・。

この芝居のテーマ曲「walkin」の前奏が流れ始める。メルヘン商店
街に人が集まつてくる。まずは、夢を見る、あるいは夢を捨てきれ
ない奴ら。

坂上
みち
敬子
浩明
オーディションナンバー一番。坂上あきらです。ダンス歴なし。
二番、岡島みちです。二十年振りです。頑張ります。
橋敬子、三番。特技は、特技は・・・特にありません。
西田浩明。人生二二年、腕試しにやつてきた。

続いて、商店街の子どもたち。現れる。歌い、踊り出す。

「walkin'」 The show—~~the~~ guys 『トム』 一曲

let's walkin' let's walkin' let's walkin' let's walkin'
仕方ねえ なんていじなこよね
流されたつて楽じゃねえ
時には立ち止まつてオーケーや

でも だが それでも もこいや let's walkin'
やがて 歩きだやつ 胸こいぱこに
いのまや~ エリカや~ 明日かや

星が流れる場所あや

let's walkin' let's walkin' let's walkin'

坂上、みか、櫻井、畠田、かわらわ。

あともふくらひ エリカで行くのか
人の波 今田や畠田や繰り返しの
でも顔を上げ 止まひなこ 風を畠田や櫻井や
吹かれてこりへ 世界を回れ around the world

let's walkin' let's walkin' let's walkin' let's walkin'
やれぬいふ なこなんて恤わせなこ
出来ぬいふしかでややしねえ

仲間がいのから救われた

でも だが それでも ネコトヤ let's walkin`
やがて 歩きだそつ 胸こへせこ
いつまでも? ニューモド? 明日モド

月が微笑んでる場所まで

let's walkin` let's walkin` let's walkin`

涙のれど ここじゃないか
海の底 涙も汗もねからない
飛ぶんじゃない 走るんじゃない 風を胸中で運んで
歩くべし 世界を回れ around the world

let's walkin` let's walkin` let's walkin`

I'm walker you're walker

let's walkin` 歩くべし

let's walkin` 何も持たず

let's walkin` 歩くべし

let's walkin` 両手をフニー

let's walkin` 歩くべし

let's walkin` おお皿めんぱ

let's walkin' let's walkin' let's walkin'
let's walkin' let's walkin' let's walkin'
let's walkin' 夜を越えり

「わすめ」の腹話術師、相棒、「ゴローちゃん」と登場。

ゴロー ねえ、なにか楽しきな声が聞こえてくるよ。

腹話術師 じゃあ、ゴローちゃん、一緒に行つてみようか。

ゴロー そうだな、仕事もないし。

腹話術師 それを言つたよ。

商店街の人々が、踊り歌う皆を見つめる。

II、商店街の危機にアイドルグループ「赤つ玉」を決める

「」は「地蔵通り商店街」の倉庫兼詰め所。で、今、商店街の人たちが、集まつてきている。そこにはギターを抱えて飛び込んでくる奈津洋一郎。コスプレの制服を着ている。

奈津唐 いやあ、遅くなりました。わ、わしゃしゃしゃ。みんなさんは、相変わらずの様子ですねえ。

哲 黙つてろ、奈津唐屋。

奈津唐 はい？ おまけにもうひとつ、はい？

哲 ああ？

奈津唐 奈津唐屋はないでしよう。

哲 おめえ奈津唐屋じやねえか。

奈津唐 奈津唐屋は、親父がやつていた酒屋の屋号。今、私が店長をつとめているのはコンビニエンスストア、A Bマート地蔵通り店です。わかりましたか、八百屋の哲さん。

哲 ちえ。親父の店を勝手にコンビニにしたくせによ。

奈津唐 なんだと。

アケミ はい、どうぞ。

アケミ、奈津唐屋にお茶を出す。

奈津唐 アケミさん、ありがとうございます。あなたの店の花のよう、相変わらずお優しい。感謝、もう一つおまけに、ほれちやいそう。

アケミ 奈津唐屋さん。

奈津唐 うん？

アケミ 相変わらずうるさいわね。

キヨーコ 奈津唐さんが、お父さんになつたらどうなるのかしら。

アケミ キヨーコ、そんなことは絶対にないわよ。

キヨーコ そうだよねえ。

奈津唐 ぎやふん。

じゃ、皆さんお集まりのようだし、そろそろですかね。
ちよつと待てよ。これだけかよ。

ええ。連絡頂いた方もいますが、やはり時間帯もありますし。
それぞれ都合があるから、今回は昼の時間帯で集まることになつたんだろ。
オレだつて、都合つけてんだから。

奈津唐

わざわざ都合つけるほど忙しいんですか？

哲
なんだと？！

アケミ
まあまあまあ。

草脇

（寝ていたが目をさまし）前回の集まりは、・・・夜。夜、だつたかにや？

哲
まだわけえのに、可哀相によ。

キヨーコ
ゲンちゃん、前回は夜だつたよ。

草脇

（可愛く）僕のおじいちゃんの頃はね、夜でもお店を開けてたんだ。いっぱ
いお客様がきてたからあ、それでなんだ。ふふ。

奈津唐

やばくない？ 話は聞いてたけど。

アケミ
ゲンちゃん、お客様が全然来なくて……

哲
ゲンちゃん。寝てて大丈夫だから。な、・・・ゲンちゃん？

ゲンちゃん、寝ている。

哲
もう、寝てるじゃねえか。

清
寝かしつきましょう。

草脇
まだ、起きてる。（といきなり起きあがる）

哲　　わあ。（と驚く）
清　　まあ、とにかく地蔵通り商店街の役員会議を始めたいと思います。

拍手。

奈津唐　商店街会長！（会長は清のこと）

清　　はい、洋二郎君。

奈津唐　奈津唐洋二郎、地蔵通り店店長です。

哲　　バカ。

アケミ　はいはい、意見をどうぞ。

奈津唐　確かにこの通りは地蔵通りですが、商店街は地蔵通り商店街ではなく、地蔵通り……

キヨーコ　メルヘン商店街。

奈津唐　（遮られたのでむつとするが）でしょ。正式名称は地蔵通りメルヘン商店街。

哲　　どつちだつていいじやねえか。

奈津唐　よくないですよ。そういうことをきちっとやつていいこうつて、僕ら役員になつたときに話したじやないですか。

清　　実は、その辺りのことも含めて話したいんだけど、とりあえず、地蔵通りメルヘン商店街役員会議を始めます。

奈津唐のみ盛大に拍手。

アケミ　今日は、秋の売り出し計画とお祭りについてですよね。

清 うん・・・。

奈津唐 祭りか。今年も歌いますよ。♪夏が過ぎ風あざみ♪

清 奈津唐君の歌は、例年通り歌つてもらうとして、

奈津唐 任せてください。

哲 去年はよ、ひでえ目にあつたぜ。

奈津唐 (嬉しそうに) ああ。

清 あれかぶつて商店街を歩いたんですね。

哲 絶対人気が出るとかだまされてな。その大元のアイデア、なんだつけ、ええ、ピンクのメルヘン地蔵祭り。あの企画は誰が考えたんだよ。

みな奈津唐を見る。

奈津唐 や、やだなあ。それは、それはですよ、みんなで話し合つた、若い女性や子どもにいかにこの商店街に足を運んでもらうか、というところから、メルヘンというコンセプトが生まれ、それまでのイメージである地蔵と結びついて「メルヘン地蔵」というアイデアが生まれたわけですよ。

キヨーコ 商店街中に、ピンクの地蔵が建ちましたね。

アケミ 赤、白、青のトリコロールカラーの提灯。

清 地蔵まんじゅう、地蔵ケーキくらいはよかつたけど、

アケミ 地蔵ステッカー、地蔵エプロン、地蔵アイスなんてのもあつたわね。

哲 オレのところじやさ、仕方ないから、蕪を頭にして、胴体がナスで足がミョウウガ2個つていう地蔵セット作らされてさ。

皆 （少し考えて） ああ。

アケミ 売れたんですか。

哲 売れるわけねえだろ。

アケミ あの、 うちは結構売れたんです。ミニチュア地蔵がかすみ草とムラサキツユクサのかごを背負つてるっていうキヨーコのアイデア。うちのK & Aフラワーは、キヨーコのアイデアで持つてるから。

キヨーコ ありがとう。お母さん。

清 たしかにキヨーコちゃんはセンスあるよね。

キヨーコ お花のこと好きだから。

清 え。

キヨーコ じつと見えてると思ひ浮かぶんです。好きだから。

草脇 （いきなり） 僕も草履や下駄や雪駄が大好きなんだけど、全然売れなかつた

よ、地蔵草履。

皆 ・・

清 うちも地蔵豆腐つていう黒胡麻豆腐売り出したけどまつたくダメでした。
アケミ なんで地蔵豆腐なの。

清 色が灰色だつたんで。徳さん、徳さんところはどうでしたつけ？

徳 うちは、コロッケ一筋。ほかのものはなーんもやらん。ていうかできん。

奈津唐 地味な商売ですよね。あれ、一個売つていくらになるんです？

徳 いくらでもよからうが。

奈津唐 唐揚げだの、天ぷらだの売つたらいいじゃないですか。そうそうちのホツトホツトチキン結構出ますよ。

哲 バカ。

奈津唐 バカつていうほうがバカ。

哲 德さんのおまえにはわからねえのか。

奈津唐 わかりませんねえ。

哲 ああ、親の遺産でコンビニの権利買うやつにやあ、わからねえだろうな。

奈津唐 キー。そう言うこと言つてるからね、この商店街は閑古鳥が鳴くんでしょ。ちなみにうちは儲かつてますけどね。

德 ふん。

アケミ いくら売り上げがあるんですか？

奈津唐 一日平均、42万5千362円。

徳立ち上がる。倒れる。皆で支える。

清 奈津唐君、あんまり徳さん刺激しちゃダメだよ。

キヨーコ 大きい数字慣れてないんです。

奈津唐 とにかくですね、うちは困つてるわけじゃないのに、この商店街のためだと思つて、いろいろとアイデアを出してるわけですよ。そこんとこわかつてほしいなあ。

徳 あの、あのなあ。なんで地蔵がピンクになつたり、女子どもが喜ぶもんになつたりする。

奈津唐 はい？

わしはうまくいえんが、地蔵は地蔵でいいじやろが。

そうですね。今、徳さんの話、それからさつきのキヨーコちゃんの話、僕が

今日提案しようと思つたことに、すごく通じるんです。

どういうことだよ。

僕もうまく言えないんですが……この商店街にいて良かつたな、って思える
つていうか、この商店街があつて良かつたな、って……

キヨーコ 好きだから。

清 哲 そうです。

どういうことだよ。

清 哲 誇りの問題じやないかと思うんです。

奈津唐 ほこり。

清 草脇 いやいやそのほこりじやなくて。徳さんのコロッケ一筋の心意氣みたいな。

草脇 誇りか・・・。つまりは客にこびすぎたと言うことですかな。

アケミ ゲンちゃん、戻つたの。

草脇 ご心配なく。ご心配なく、だにや。

キヨーコ 長くは続かないのね。

清 ゲンちゃんのいうとおり、みんな、ほんとに去年メルヘン地蔵祭りなんて、
やりたかつたんでしょうか。そんな人いたんですか。

奈津唐がおどおどと手を挙げる。

清

例外はともかく。なにも、ピンクの地蔵が悪いと言つてゐるわけじゃない。あれだつて、例えばお金をかけてうまく宣伝すれば、ほらテレビでよくあつたじゃないですか。売れない商店街やお店に芸能人が来て立て直すみたいの。ああ。

くだらん。

でも、商店街にそんな予算やコネがあるわけじゃない。素人だし。実は代理店みたいなところにも相談したんですけど、予算を聞いたらとてもとても。アケミ わたしたちに出来ることで、お客様にこびずに、わたしたちが誇りを持てる、ええ、しかもお金のかからない企画？

そうです。

キヨーコ なんだらう？

清 実はもう一つ話があります。あの「アーバン」がこの街に来ることがどうやら本決まりのようです。

アーバンってなんだよ。

奈津唐 アーバンて、あの海外資本のショッピングセンター？

清 ええ。生活用品、食料品、衣服、すべてがそろう大型店です。

哲 そりや困るよ。ただでさえ寂れた商店街が、困るつて。

アケミ どこへ出来る予定なんですか。

清 地蔵広場。

草脇 あそこは、吉沢さんのところの持ち物じやないか。
アケミ ゲンちゃん。

草脇 大丈夫だ。

清 先代の吉沢さんがなくなつて奥さんも長いこと入院してますし、息子は東京
でしょう。駅前の不動産屋を通してアーバンと話してます。不動産
屋がわたしの同級生で、聞きました。

アーバンには、草履も売つてるのか。
草脇 売つてます。

草脇 大事だ、にやわん。

清 アーバンにお金や力で対抗するのは難しいです。ですから、
キヨーコ 誇りを持てる、もの。

清 この商店街から送り出すんです。

アケミ なにを。どこへ。

清 show

清 しよう?

天一 guys

草脇 テンガイズ?

清の女房、晶子やつてくる。

晶子 あ、あんた。
清 どうした晶子。

晶子 地蔵広場に、サングラスかけた男の人がいるんだけど、
清 うん。

晶子 その人、昭雄ちゃんじやないかと思うのよ。

キヨーコ 昭雄ちゃん？

清 そうか。来ててくれたか。

晶子 ええ。

清 みなさん、切り札が来てくれましたよ。帰ってきた！

哲 ど、どうしたんだよ。

清 ちょっとすいません。迎えに行つて来ます。

奈津唐 ちよ、ちょっと。

清 晶子、歓迎会の準備を。

晶子 はい。

清、行こうとする。

キヨーコ あの、さつきの何ですか。

清 え。

キヨーコ ショウ、テンガイズ？

清 ああ。地蔵通りメルヘン商店街がプロデュースして全国に発信するグループの名前です。デビューは秋祭り地蔵広場。アイドルグループですよ。それじや。

清、行く。

哲 アイドルグループ？

アケミ 地蔵通りメルヘン商店街でプロデュース・・・

奈津唐 全国発信・・・って、オレ店あるし。この年でアイドルかア。

哲、ばしっと奈津唐をたたく。徳さんが、発作。皆、慌てる。その
中で、

キヨーコ でも、ちょっと素敵かも・・・。ショウテンガイズ。The Show—天 guys

皆、右往左往しつづける中で転換。

三、古谷昭雄の帰省のこと

地蔵広場。サングラスに旅行鞄の男が立っている。古谷昭雄（48）
である。清やつてくる。（清の方を向く）

清 昭雄ちやん？！・・・
(清の方を向く)
清 昭雄ちやん。

昭雄 清か。

ああ。やつぱり昭雄ちやんだ。（抱きつく）会いたかつたよ。
よせ、よせよ。

と、ラーメン屋ドラゴン亭の奥さん、出前の途中で通りかかり、二人の様子を見て驚き勘違いして行く。

おい、おい、ちょっと待てー。誤解したまま行くな。離せ、清。つめてえこというなよ。久しぶりにあつたんだから。昭雄ちやんー。

とまた抱きつく。そこへ顔を覗かせたドラゴン亭の奥さんまたもや目撃する。そして去る。

おいー。

昭雄ちゃん、垢抜けたなあ。

え？

決まってる、つーのか。ブランドもんか。

ああ。

やつぱり業界人つて感じだな。

こんなのは東京じや普通だよ。

いや、やつぱり、昭雄ちゃんは昭雄ちやんだ。かつこいい。子どもの頃から、オレたちのリーダーだもんな。

・・・

久次や弥太郎にも、昭雄ちゃんが久しぶりに帰つてくるからって、声かけた

昭雄 清

んだけど、みんな忙しいらしくて。ごめん。

なんで清が謝るんだ。それにもうみんなこの商店街にはいねえんだろ。

ああ。オレだけだ。

関西の大学行つたんだつけ。

ああ。で帰つてきた。

しかし、清はかわんねえなあ。

恥ずかしい。

おまえも少しあか抜けろよ。商店街会長。

身にあわねえことさせてもらつてるんで大変だ。昭雄ちゃん。

ん。

この度は、忙しい中、地蔵通り商店街・・・、いやもとい地蔵通りメルヘン商店街に、

なんだそりや？

説明は後にして、メルヘン商店街に、お忙しい中お帰り下さり本当にありがとうございます。昭雄ちゃん、ほんとにあるがとう。

一応、仕事だからな。

ああ。昭雄ちゃんが、東京で音楽プロデューサーになつたつて話し聞いてな、
ぴかんと思いついたんだ。なんつたつて、昭雄ちゃんは、この商店街の出身なんだから・・・、
なあ、大丈夫なのか。

昭雄

清

昭雄

清

昭雄

清

昭雄

清

昭雄

清

昭雄

清

昭雄

なんだ？

予算だよ。予算。

ああ。

清
昭雄

なんにせよ、こんな貧乏商店街だ。相場とはいわねえけどさ、やつぱり仕事だからさ、それなりには・・・

電話で話した分はなんとか。

清
昭雄
そうか。

無理してもらつて。もうバンドの方は自分じややつてねえのか。
ああ、教えたり演出したりプロデュースしたりで忙しくてな。

清
昭雄
ほんと忙しいとこ、わざわざ、

いや。ついでだよ、ついで。なに、隣町のホークでさ、QPガールズのコンサートがあるんで、

QPガールズの面倒もみてんのか、昭雄ちゃん。
ん、うん。まあ、な。

やつぱり昭雄ちゃんに頼んでよかつた。オレなんか、なんもかわらねえけど、昭雄ちゃんならこの商店街変えるきっかけつくってくれるかもしだねえ。なあ、この地蔵広場覚えてるか。ここで久次や弥太郎たちとしょっちゅう遊んだな。

清
昭雄
そうだつたかな。

昭雄ちゃんは番長で、みんないうこと聞いて、昭雄ちゃんが、あの哲さんの

八百屋からスイカ盗めつていつたら盗んだし、
ははは。

それで、たまたま居合わせた松ノ湯のまっちゃんが、オレたちしかりとばして、次の日復讐だーつてみんなで銭湯に行つて、オレンジジュースの原液湯船の中でぶちまけて、さつと帰つて、湯船全部オレンジジュースになつたり、

（笑いながら）それは、それはないだろう。

あと、向こうの住宅街の剛が生意氣だつて、みんなでぼこぼこにしてロープで縛つて……

おい、待てえ。ちょっと待てえ。それはやつてないだろ。

あ、そうか。とにかく、ここが本拠地でな、この地蔵広場からいろいろなところに出撃したさ。なつかしいね。

・・・

今でも祭りはここだよ。それで、ここにアーバンが来る予定なのさ。

（一瞬反応するが）関係ねえ。

おふくろさんのところもう顔出したのか。えれえ、喜ぶぞ。

・・・

・・・おめえ、まさか連絡もしてねえんじや。

おい。おめえ？ 清、偉くなつたなあ、おまえ。誰に向かつて物言つてんだ。ごめん。だけど、おふくろさん、駄菓子屋しめてからめつきり老け込んでな、うちの嫁も心配して・・・

清 昭雄 昭雄 清 昭雄 昭雄

黙れよ。

ごめん。

かわらねえな。

え。

おまえも、ここも、なんもかわらねえ。

かもしけねえな。

ちつ。

かわらねえから、・・・どうなんだ。

オレはな、それがいやでここを出たんだ。

変わろうとしたつて変われねえもんと、変わろうとしねえから変わらねえもんがあるんじやねえかな。

・・・

だけど、この広場も今になつて見りやちいさいなあ。な、昭雄ちゃん。さあ、みんな待つてるからいこうや。

みんな待つてる？

とりあえず商店街の役員会で歓迎会を予定してるから。

やめてくれよ、そういうの。

なにいつてるんだ。これは来るべき大事業のための顔あわせ兼打ち合わせだつて。な。ああ。

昭雄

清

昭雄

昭雄

さあ、行こう。

ああ。

行こうって。

行くよ。

何してるんだって。早く、行こう、行こう。

ちょっと待てよ。

などとぐずぐずしている昭雄と清がもみあつていると、またラーメン屋ドラゴン亭の奥さんが、今度はわざわざ旦那まで連れて見にやつてくる。ふたり、「やっぱり」というようにうなづく。

違う。違うって。おい。おい。誤解するな。どういう商店街だ、ここは。

いおい。

さ、早く早く。

などばたばたしている様子を、ラーメン屋の夫婦、ますますいぶかしげに見つめる。

四、商店街キッズの憂鬱

板東猛（八百庄の息子）が、倉庫兼詰め所にやってきて、スマートフォンでゲームをしながらハンバーガーを食べようとする。倉庫の奥からピンクの地蔵の面をかぶった奴がひょいと顔を出す。北沢真（北沢豆腐店の息子）である。

はははは、板東猛、なにをこそそとやつている。

はい？

オレの名は、ピンク地蔵。悪を倒し、正義を司る、ピンクの地蔵見参！

おまえ、馬鹿？

猛 地蔵 猛 地蔵 猛 地蔵

戦いはじまるが、猛はいまいち乗らない、乗らない中つきあうが、最終的には地蔵やられる。ピンクの地蔵やられ、奥にいつてよろめき「覚えていろよ、私は必ず復活する」「爆発」するところでおしまい。

（ピンクの地蔵面を脱ぎ捨て何事もなかつたように） おい、猛、ピンクの地蔵、強かつたなあ。

（バシッと叩き） 真。

だから、ピンクの地蔵・・・

（バシッと叩き） 真。

だから、ピンクの地蔵は、

（バシッと叩き） あのさ、もうガキじやねえんだからさ。こういうの、やめようよ。オレたちいくつだ？

高校三年です。

ほんとです。

自分でつてそれなりに乗つてやつてたくせにさ。鍵ちゃんとしめたかよ。

ああ？

最近親父がさ、なんかここでオレたちが遊んでるの疑つてゐみたいでさ。

別に悪いことしてるわけじゃないし、いいんじゃないの。

悪いことすつか。

酒にタバコか。

あんまり興味ねえな。普通じやん。

(とゲームを再開)

そのゲームおもしれえ?

別に……。

じや、お、女。

美佳子、美佳子、愛してるよ。

やめろつて。

愛してる、愛してる、君のこと考えると夜も眠れない、美佳子、美佳子……
やめろ、ほんとにやめろつて。おい、猛!
まじになるなよ。

うん……。

なんか、

猛
おもしれえことねえかなあ……

あーやだやだ。

なにが。

なんかよ、将来面白いことがあるかもしれない、って展望がみえねえんだよ。
ひねた高校生だなあ。前途有望な少年少女の一人なんだからもつと夢を語れ

よ。
じや、お前が語れ。

え。

ほれ、早く。どうした。

・・・。

なんもねえくせに。

・・・。ほんと、なんかおもしれえことねえかなあ。

あー。（とハンバーガーをばくばく食べ出す）

また、ハンバーガーかよ。

わりいかよ。肉だよ、肉、肉。

いくらうちが八百屋だからって、そこまでかあ？

おまえには、オレの苦しみはわかんねえよ。

オレだつて、家の豆腐や油揚げよく食べるけど、別に嫌じやないぜ。

おまえんちは、豆腐しか食べないわけじやねえだろ。うちはそうじやねえんだつて。

どういうことだよ。

まあ、見てみろよ。

あれ、あれ、お前の姉ちゃんじやねえか。うん。あれが親父以上にうざいんだよ。つていうか、何で暗くなつてんだ。

回想シーン用の明かりになつてます。猛の姉、板東沙織が八百屋の格好で登場している。

今から回想シーンだから。
なんだよ、回想シーンで。

うーん、約五年くらい前な。中学入り立ての頃。

だから、ありえないって。

じや、行つて来るわ。

つて行くなよ。おい。

猛、回想シーンに参加する。仕方なく見ている真。

猛！

姉ちゃん・・・

あんた、また隠れてそんなの食べて。タダ飯食べられなくなるでしょ。

・・・今日の夕飯なに？

今日はね、カボチャとピーマンの煮物。うまく出来たわよ。
それから。

ニンニクの芽のオカカ和え。

・・・

それから、キューリとリンゴとトマトとインゲンのサラダ、里芋につころがし、小松菜とジャガイモの味噌汁、あ、そうそう、しめじしたけえのきまたけの豪華キノコオリーブオイル炒めがメインの予定。

猛 猛 猛 猛 猛 猛
沙織 沙織 沙織 沙織 沙織 沙織

真 猛 猛 猛 真 猛

メインじやねえよ。

猛沙織

なによ。

メインは、魚とか肉だろ。それに、動物性タンパク質、オカ力だけじゃん。

いいのよ。

毎日毎日野菜ばっかり食つてられつかよ。

なに！家が八百屋なんだからあたりまえだろ。野菜は生ものなんだから、危なくなつたら惣菜にする漬け物にするそれを売る、それでも余れば家で食う。

それがやなの。

商売人の常識でしょ。

姉ちゃんは、それでいいのかよ。たまにはジャンクなもの食いたくならない？
ならない。

姉ちゃん、オレと立つているところが違う。短大生のくせに、八百屋っぽすぎるよ。

（断定的にあたり前のこととして）だつて、八百屋だもん。

あー（と叫んでハンバーガーを食べる）

こら。肉なんか食べなくたつてね、人間は生きて行けるのよ。野菜食べてれば大丈夫なんだから。菜食主義つてのはあるけど、肉食主義つてないでしょ。姉ちゃん、短大で栄養学勉強してるんだから、間違いないって。

ライオンは。

猛沙織

ライオン？

ライオン、肉しかくわねえだろ。

え。

ライオンが野菜くうかよ。でも健康そうだぜ、ライオン。
食べてるので。

え。

ライオンが野菜。ライオン。
食べてるので。

え。

ライオンも隠れてね、ブロッコリーとか人参とかニンニクとか、良さそうな
もの選んで食べてる。

なんでライオン隠れて食うんだよ。

そりや・・・ライオンも意地があるから。

嘘つけ。

ほんと。時々うちの店にも買いに来るし。

あー。やめてくれ。

あ、ライオンだー。いらつしやい。

と沙織退場。照明も戻って。

と、こういうわけなんだよ。

どういうわけだよ。

オレのこれまでの人生だよ。

だから、おまえ高校生だろ、人生これからだよ。

真 猛 真 猛

沙織

沙織

沙織

沙織

沙織

沙織

沙織

猛

沙織

沙織

沙織

ほんとか、ほんとにそうか。
なんでだよ。

猛の父、板東哲、八百屋スタイルで登場。店で野菜を売っている姿
が浮かぶ。「へい、いらっしゃい。いらっしゃい。今日はキャベツ、
キャベツ、春キャベツが安いよ。いらっしゃい、いらっしゃい……」
そんな父の様子を見ながら、

明日、第一回の進路希望調査だろ。
ああ。なんだよ、大学いくんじやねえの？
うん。

じやあ、いいじやん。成績で行けるところいきや。金かかるところはいけね
えし、すげえ一流は無理だし、だいたい決まつてんじやん。
おまえも夢がないね。

だつて、そんなもんだろ。

でもよ、あの父ちゃん見てたらさ。オレ、なんかな……

なんだよ。

大人になつたら、どうなんのかなつて。
え？ なんだそれ。

だから、大学出ても結局八百屋になつて、残り物で夕飯食うのかな、毎日。
考えすぎじやねえか。

さあ、奥さん、持つてつて、持つてつて。大負けに負けて、三つで、いや四
つで、その値段でいいや、持つてけ、泥棒！ 余つたら、今日のうちのおか

すにしかなんねえんだから。

沙織
哲

（出てきて）もう、父ちゃん、うちの家計をばらさないでよ。
あ、そうか。

二人、ギャハギャハと笑う。それを見て猛たまらなくなり、

ウオー。（と頭を抱える）オレには八百屋の血が流れているんだあ。
いつの間にか哲と沙織はいない。回想シーン終わって。

考えすぎだつて。

そうだよな。

うん。

オレって、将来何やりそうに見える？

将来？

ああ。なんかいろいろあるだろ、職業。

うーん？ あ。

なんだよ。

八百屋。

ウオー。（と頭を抱える）

おい、おい、猛。ほんとはな、（耳元で）八百屋。

ウオー。・・・真。

なんだよ。

美佳子。

やめろつて。

美佳子美佳子。

まじやめろよ。八百屋。

ウオー。

猛 真 猛 真 猛

「美佳子」「八百屋」と言い合う、二人。沙也加現れる。

沙也加 あんたたち！

沙也加・・・

沙也加 格好悪いわよ。男のくせに。ちゃんとしな。

真 中学生に怒られた・・・。

二人落ち込む。

猛 沙也加のくせに。

沙也加 なによ、沙也加のくせについて。

真 沙也加のくせに。

沙也加 男のくせに。

二人やりこめられ、うなりながら、「つまんねえ」「ダメだ」「おもしろくねえ」など。沙也加あきれいで「人を見ている」。

五、歓迎会で奈津唐燃える」と

暗闇にギターの音が響く。弾き語りをしているのは奈津唐。曲は例えば「チャンピオン」(アリス)。倉庫兼詰め所にいるのは、他、ゲンさん、徳さん、キヨーコ、アケミ、哲、沙織、清、清の奥さん(晶子)など。昭雄は少し離れて携帯で電話をしている。皆は、もう酒が入つて騒がしい。昭雄の歓迎会。

昭雄

(電話で)・・・ええ、忙しいのはわかつてます。でも、もうしばらく帰れそうにないんですよ。え、帰つてこなくていい? ちょ、ちよつと待つてください。お願ひします。なんとかしますから、はい、はい、すいません・・・

ラーメン屋の奥さんが出前にやつてきて、ぎょっと昭雄を見る。違うと手を振るが、誤解はとけない。

奥さん こんばんは。ドラゴン亭です。

キヨーコ 待つてました。餃子10人前。おいしいんだよね。ドラゴン亭。

アケミ あ、この前、雑誌の記事見ましたよ。ラーメン。

奥さん ああ、ありがとうございます。どちらおきましょくか。

晶子 じゃあ、こつちに置いてもらいましょくか。

奥さんはい。

哲 しかし、これでよ、アーバンが来ても、行けるんじやねえか。

ラーメン屋の奥さん、アーバンという言葉に反応する。

清 哲さん、そういうもんじやないつて。さつきもいつたようにこのプロジェクト

トは、なんていうかな、商店街の結束を高めるためにさ・・・

奈津唐 (ようやく歌い終わつた。電話をしている昭雄に) 昭雄さんー、昭雄さんー、あ、いたいた。もう、こつちに来て飲みましょう。

沙織 奈津唐屋。

奈津唐 奈津唐屋じやねえつて。親子そろつてよ。

沙織 はいはい。でも、あの昭雄さんつてプロだつたんでしょ。もうその人の前で恥ずかしげもなくよく歌うわ。

奈津唐 いいじやないですか。(と酔つている)

草脇 そうだよ。昭雄は、東京で、バンドやつてて、CDまで出したんだよな。

昭雄 ええ、まあ。

アケミ ゲンちゃん大丈夫なの。

草脇 昭雄が帰つてきたんだ。もう大丈夫だつて。

哲 今じや、音楽プロデューサーつてんだから、こりや都合が良かつた。

沙織 父ちゃん、都合がいいはないでしょう。

哲 あ、そうか。

アケミ でも、ほんとにそうですね。アイドルグループを作つてデビューさせるな

んで、私たち見当もつかないし、代理店?とかプロダクションに頼んだら、すごくお金かかるんでしょ。ね、昭雄さん。

宣伝費入れたら、億は、すぐですね。

昭雄 億!

徳

徳さん、立ち上がる、倒れる。みんなで介抱する。苦しげな息の中から。

ほんとにそのこの商店街がその歌手を、デビューさせることが出来るんだらうか。

皆、一瞬戸惑う。

だから、昭雄が来てくれたんじやねえか。

いや、わしは、毎日毎日その一個売つていくらにもならん、コロツケあげて
るだけのことじやけど、だから良くわからんのだが……

金のことじやないんじや。ピンクの地蔵と、どこが違うか、まだよくわからんのじや。

アーバンつて本当に出店するのかしら。もし来ないんだつたら……
晶子、そうじやなくてな……

ラーメン屋の奥さんがまだいた

奥さんあ、あ、つい長居しちやつて・・・、失礼します。

奥さん行く。

草脇
オレ、徳さんの意見、わかる。

清

あの、この前話したこと覚えてますか？オレは、この商店街にいて良かつたなつて思えれば、がんばれるんじやないかなつて。何やつたつて、それで一時的にお客様が増えたつてそれだけじや……。なんで、なんでアイドルグループかつて言われると困るけど、それこそ、こいつが、昭雄がいたから、地元の、商店街出身のこいつがいたから出来るんじやないかつて・・・、アーバンが来るにせよ、来ないにせよ、どっちにしてもこの商店街、どうにかしなきやいかんとは思う。

草脇

一時的にだつて増えれば、ほんとに助かるつて、思つてるところ多いんじやないかしら。

それは、そうだけど・・・

林文具店な、今月でしめるそうだ。

やつぱりだめでしたか。

うん。

晶子

中学が、向こうへ移つて統合されましたからね。それから、よく頑張りまし

たよ。ご夫婦で、ほんとに。

おまえ、同級生だつたものな。

沙也加ちゃんも店番してね。二人で注文取りに回つたり。

ああいう店は、学校とかの大口がなくなれば、一発だなあ。

明日は我が身ですよ。

清

林文具店な、今月でしめるそうだ。

やつぱりだめでしたか。

うん。

晶子

中学が、向こうへ移つて統合されましたからね。それから、よく頑張りまし

たよ。ご夫婦で、ほんとに。

おまえ、同級生だつたものな。

沙也加ちゃんも店番してね。二人で注文取りに回つたり。

ああいう店は、学校とかの大口がなくなれば、一発だなあ。

明日は我が身ですよ。

板東雅美（小学生）が泣きながら、美佳子（高校生）、沙也加に連れてこられる。

晶子 沙也加ちゃん。

美佳子 こんばんは。

晶子 美佳子ちゃんも。

沙織 雅美、どうしたの。

雅美 お姉ちゃん……

哲 おいおい、なんで泣いてんだよ。父ちゃんにいってみろ。お。

沙也加 雅美ちゃんの家に行つたら、誰もいなかつたんで……、

美佳子 ええ。そうしたらラーメン屋のおばさんがここだつて教えてくれたんで連れてきたんです。

哲 ありがとうございます。

沙織 でも、猛がいたでしよう。

雅美 お兄ちゃんいなかつた。

沙織 あいつ、またあそんでんな。

沙也加 当てにならないんだからあいつら。

沙織 え。

沙也加 あたしと美佳子さんが地蔵広場にいつたら、雅美、泣いてたんだ。

美佳子 うん、それで沙也加がどうしたのって聞いたんだけど……。ねえ。

沙也加 うん・・・

哲 だから、どうしたつていうんだよ。

雅美 「つぶれそうな商店街の子ども」なの?

哲 え・・・

沙織 だれ? 誰がいったのそんなこと。

草脇 そ、そうじゃ。

雅美 実君がいつた。

沙也加 実って、駅前商店街のスーパーの子どもなんだ。この前も変なこと言うからちよいとおどかしたら、私には言わなくなつたんだけど。

草脇 「いしい」の息子か。

美佳子 それで雅美ちゃん、そんなことないつて言つたらしいんですけど・・・、あ
の・・・。

沙也加 実、お父さんやお母さんがそう言つてるつて雅美に・・・

哲 ちつくしよう。（と飛び出そうとするが、皆に止められる）は、離せ、離せ。
沙也加 でも、うちの店つぶれちやつたし……ほんとのことだから仕方ないかも。あ、
オジさんのところは、違うかもしれないけど・・・。ごめんなさい。

雅美 今日学校に持つてつた、ふれあい弁当、売れ残り入れてきただろうつて言わ
れた。

沙織 ・・・。ごめん。ほんとに売れ残りで。

キヨーコ （突然大声で）あー。

アケミ キヨーコ・・・

キヨーコ なんだか頭に来る。

ラーメン屋の奥さんが旦那を連れてくる。

奥さん あの・・・

晶子 あ、まだ食べ終わつてませんけど。

奥さん いえ、そうじやないんですけど。お取り込み中ですか。

草脇 いや。大丈夫ですよ。ねえ。

哲 ああ。

奥さん あんた。

ラーメン屋 ああ。どうも、皆さん、こんにちは。ははは。

奥さん あんた！

ラーメン屋 わかつてゐる、わかつてゐつて。ははは。あの、おまえ・・・

奥さん つとにもう、だらしない。早く。

ラーメン屋 あ、ああ。ア、アーバンが・・・

アケミ あ、心配してきてくれたんですか。ドラゴン亭さんも同じ商店街の仲間です
もんね。

ラーメン屋 ええ、まあ・・・そなんですが・・・

奥さん あんた！！

ラーメン屋 そうじやないんです。あの、店を止めることになりまして・・・

晶子 ええ？ ドラゴン亭さんも。

アケミ 流行つてゐるじやないですか。雑誌にも載つたりして。

奥さん あんた、ちやんと言わなきから。

ラーメン屋 だけど、おまえ……、こりや参ったな、ははは。

清 どういうことですか。

奥さん 店、閉めるわけじやなくて移るんです。

哲 どこへ。

奥さん アーバンに。

皆驚く。

ラーメン屋 ははは。

徳 やっぱり、ほんとにアーバンはくるんじやな。

ラーメン屋 まあ、私らにも声がかかるくらいですから。ははは。

奥さん 正式な契約はまだなんですけど。

哲 だけど、ラーメン屋が移つてどうすんだよ。

奥さん あのイートインとかいうらしいんです。

キヨーコ ああ、知つてます。奥さんたちが子どもを連れて一日中いたりするんで

すよね。買い物して、お昼を食べたりお茶を飲んだり。

哲 ちえ、そんなんじや、ますますこつちは客が引くわけだ。

ラーメン屋 あのー、それでー、そこに店を出さないかと・・・

哲 おい、じや、この商店街捨てんのか。

清 哲さん。

奥さん 仕方ないじやないですか！

晶子 奥さん・・・

奥さん いい条件なんです。賃料がほとんどただなんです。雑誌に載つたうちのドラゴン麺をやつて欲しいって。目玉にしたいって。皆さんと違つて、私たち、あの店舗は持ち家じやなくて借りてるじゃないですか。前から、もつといいところがあつたら移ろうねつて、話してたんです。ね。

ラーメン屋 あ、ああ。ははは、そうなんです。

奥さん 別にこここの商店街じやなくともいいんです。おいしいラーメン作れば。ほんとに、いい話なんです。

ラーメン屋 あの、それでも、なんというか、皆さんに黙つていくのは、やつぱり心苦しいつて一人で話して……、な。

奥さん ええ。ここに来たとき皆さんにお世話になつたこと、ほんとにはりがたかつたと思つてますから。

ラーメン屋 あ、ありがとうございました。

奥さん それじや。

二人行こうとする。

奈津唐 (寝ていたが突然) 待てえー。

夫婦驚いて立ち止まるが、奈津唐屋、大げさな寝言だった。

清 この人は放つておいて大丈夫です。

奥さん はい。では。
徳 なあ。

ラーメン屋 はい。

徳 がんばつてな。

ラーメン屋 ・・・ はい。う、うまいラーメン作ります。

二人行く。

雅美 やっぱりつぶれちゃうからここを出ていくの？

草脇 そうなんでちゅよー。

アケミ ゲンちゃん。

美佳子 あの。雅美ちゃんの話聞いて、私たちも人ごとじやないって思つたんです。

沙也加 沙也加の家のこともあるし。

沙也加 さつきも言つたけどさ、私もしょっちゅう言われるもんね。学校で。

雅美 雅美もなにかする。

沙織 え。

美佳子 なにか、今いろいろと考へてるんでしょ。私たちも、自分の家の手伝いだけ

じやなくて、何かできないかなつて、協力して。

沙也加 なんかは、役に立つんじやねえかな。

清 みんな、ありがとう。その気持ち、ありがたくもらつておくよ。ほんとあり

がとう。

沙也加 あたしたちこの商店街で育つてさ、ここ結構好きなんだよ。な。

雅美 うん。

昭雄 ここが、好き？

沙織 ここが、好き、か。

草脇 オレもこの場所が好きだ。

アケミ ゲンちゃん。

清 切り替え早い。

草脇 子どもたちの勇気は、心の栄養剤だ。ね、アーバンが来る、お金や戦略じや太刀打できない。清さん、あんたそのショウテンガイズ、

キヨーコ あら、ショウで切つて、テンガイズにしなきや。

草脇 show一天guys。それは、あんたの言うとおり、オレたちの誇りに思えるものになるのかい。

清 はい。僕が考えているとおりなら。

草脇 そうか。徳さん。

徳 ん。もともと清さんに商店街会長を任せたのも、私ら年寄りじや思い浮かばん出来ないことをやつてくれるんじやないかと、そういうことじやつたんだから。

哲 そうだな。

草脇 あんたも、助けてくれるんだろ。昭雄。

昭雄 あ、ああ。

清 わかりました。具体的に準備に入ります。昭雄、曲はお前が作ってくれ。

昭雄 え。その話は、断つたろ。

清 バンドの曲はおまえが全部作つてたじやないか。いい曲多かつたぞ。ここで

生まれたお前が作ることが肝心なんだ。

アケミ お願いします。

皆も口々に頼む。

昭雄 やめてくれよ。いや・・・、そんなさ、甘いもんじやないんだよ。素人がどうこうできるような・・・、

奈津唐 (また突然起きて) 昭雄ー。おまえ、なんでバンドやめたー?!

昭雄 え。

奈津唐 なんでだー。お前のバンド、エンドレスウェイ、オレはライバルだと思つていたー。

昭雄 ・・・

奈津唐 ・・・

清 (奈津唐が) こいつ、目を開けたまま寝てるわ。

奈津唐 よーし。

清 あ、起きた。

奈津唐 音楽を捨てたそんなあんたには任せられん、志は一度も曲げたことはありますん、そう、この僕が、**show一夫 guys** デビューカー、見事作つて見せましょう。このフォークギターと自らの青春に誓つて。

沙織 何いってんの。

奈津唐 僕は本気だ。勝負だ。

沙織 あなたは、暗い四畳半フォークでしょ。ダメダメ。

奈津唐 なんだと。何がアイドルだ、音楽はフォーグだ。暗いというなら、四畳半から青空の下に飛び出したニューフォーグで勝負だ。

昭雄 清、オレ降りる。

奈津唐 勝負だ、昭雄ー

みな、慌てて奈津唐の口を押さえる。

昭雄 素人がいい気になつてんじやねえよ。（皆に）あのな、ヘンな期待するなよ。オレのことじやねえぞ。オーディションやつて、ろくな奴が来るかよ。オレが教えたつてさ、大したことねえのは、結局大したことねえんだよ。

美佳子と沙也加、雅美が胸を張つて昭雄に近づく。

昭雄 な、なんだよ。

美佳子が指を鳴らすと音楽がかかる。子どもたち見事に踊る。バシッと決まって。

沙也加 地蔵通りダンシングチーム。どう？

昭雄 （思わず）お見それしました。

皆拍手。

奈津唐 よーし、今日はこれくらいで勘弁してやる。三日後三日後に勝負だ。昭雄ー。

青空フォーク！！

勝負、勝負とうるさい奈津唐に「こりやダメだ」と皆退場。昭雄の困惑した表情が浮かぶ。

六、北沢春子、昭雄と再会

前景から何日か経つた昼下がり。北沢春子が、青空の下、陽射しを浴びて地蔵広場にいる。そこへ昭雄、頭を両手でかきながらやってくる。昭雄が考える時の癖である。

あの

(気づかないようで無言)

昭雄さん

三

やつぱり。昭雄さんだ。すぐにわかりました。だつて、その癖（と頭をかく

三

三

春子
昔、あたしが質問すると、いつもそうやつて考えていた。宇宙の外にはなにが

たれ？

北沢春子です。北沢豆腐店の北沢清の従姉妹の、北沢春子です。

昭雄 春子・・・、春子ちゃんか。

春子 昭雄 はい。

大きくなつたなあ。いろんな意味で。（春子役が大きい場合、ですね）
はい。小学校の時以来ですね。清さんのところに、よく遊びに行つていて。
たしか隣町だつたよな、家は。

ええ。

そうだ、どこか遠くへ転校したんじやなかつたつけ。
覚えていてくれたんですか。

ああ、うん。

また、帰つてきたんです。昭雄さんが、ここを出てからですけど。

・・・。今、何してるので。

ダンスを教えてます。
え。

隣町の小さなスタジオで、子どもたちに。昭雄さんみたいに向こうでぱりぱ
りつてわけには行かないんですけど。今度、一緒にお仕事できるの楽しみにし
てます。

え、どういうこと。

わたしが、振り付けの担当なんです。あの、さつきは何を考えてたんですか。
もしかして、**show—天 guys** のデビューコードのこと・・・

違うよ！

ごめんなさい。あの、清さんから聞いて……。楽しみなんです。昭雄さんの

春子 昭雄

曲で、ここから、誰かがデビューするなんて、素晴らしいじゃないですか。
もう話し聞いてすぐにのつちやつた。わたし、ここが好きだから。

ここが、好き・・・

まるでここが自分の田舎みたいな感じがするの。

どういうことだ。

春子

初めてここに来たとき、すごくびっくりしたのね。うちは住宅街だつたし、
買い物もスーパーだつた。お店がこんなに一杯並んでて、そこに自分と同じ
くらいの子どももたくさんいて、遊んでて、それからお父さんやお母さん、
おじいちゃんやお婆ちゃんたちもたくさんいる。それで、いろんな匂いがし
てくるの。

匂い？

春子

「ここ、なんか変な匂いがする」つていつたら、昭雄さんが、初めてあつた
私に「ばか。これはいい匂いなんだ。商店街のいい匂いだ」魚屋さんや肉屋
さんや油や果物やそれから人間の匂い・・・それで、

「おーい」と清がやつてきた。

なんだ、ここにいたのか。

清さん。

おう、来たか。その様子じや、もう昭雄と話したんだな。

おい、清。

なあ、チラシこれでいいかな。（昭雄に）

春子

清

昭雄

春子

清

昭雄

春子

清

昭雄

春子 なに？（と手に取る）

清 オーディションのチラシ。

春子 へえ。

春子 その辺は、お前に任せよ。

春子 （読みで）忘れていた落とし物がこんなところにあつた・・・、夢、一緒に探しに行こう、か。

春子 市の広報でも取り扱つてくれる事になつたし、あと地域の情報誌にものる。チラシ、うちのダンススタジオにも張つとく。

春子 そうだよ、ダンススタジオなんてねらい目だよな。春子ちゃん、悪いけど、ほかにもいいところあつたら、貼らしてもらつて。

春子 うん。了解。

春子 キヨーコちゃんが、ホームページも作つてくれるって言うし・・・

春子 へえ、すごいね。頑張らなくちや、ね、昭雄さん。

春子 ・・・

春子 それで、どうだ、曲の方。

春子 オレは、詞から先に曲を作るんだ。だから、詞も書いてくれるんだろ。だから、すぐにやできないんだよ。

昭雄 去る。

春子 少し感じが変わったかな、昭雄さん・・・

一人も去る。がらんとした広場。

七、猛、真もダンスを始めるきっかけのこと

前景から数日後の広場に、猛、真やつてくる。手にチラシを持って
いる。沙也加、雅美、追いかけるようにやつてくる。

沙也加 な、やるだろ。

しつけえなあ。

オレたちがやるわけねえだろ。

だよ、なんでそんなことやらなきやいけねえんだよ。

お兄ちゃん、やろうよ。

黙れ。関係ねえよ。

沙也加 なんで関係ないのよ。あたしたち自身の問題じやない。やつぱり格好悪い。

とにかく面倒くせえの。

一緒にオーディション受けるだけでもいいから。

沙也加 ダメ。受けるだけなんて。やるからにはこれに合格して、私たちが、show—

天 **guys** のメンバーとしてデビューしなきや。ね、マチャミ。

うん。あたしデビューする。だから、特訓しよう。踊りの練習。

あほか。男がタイツはいて、アンドウトロワなんて出来るか。気持ちわりい。

猛 雅美

なあ、真。

真 そうだよ。（とふざけて踊つてみせる）

沙也加 格好良く踊つたらもてるかもよ。

真・猛 え。

沙也加 女だつたらさ、やつぱりそうじやないかなあ。かつこよく踊る人が、好き。

雅美 でも、お兄ちゃんと真ちゃんには無理じやないかなあ。

沙也加・雅美 そうかもねー（と猛と真を見る）

二人、乗りそうになるが、

猛 ひつかからねえよ。そういうのには。

沙也加、雅美 ちえ。

猛 アブねえ、あぶねえ、沙也加のくせに騙されるとこだつたよ。なあ、真。

真、固まっている。いつのまにか、美佳子が来ていたのだ。

美佳子 真君て、踊り嫌いなんだ。

真 い、いや。

美佳子 じや、好き？

真 好き。

猛 おい。

美佳子 じや、一緒に踊ろう。

真 お、オーケー。

猛 ちよつと待てよ。

沙也加 男の友情、どつちに転ぶのかな。

雅美 うん。

猛 おまえらな。

沙也加 美佳子さんは、どういう男の人が好きですか？

美佳子 一生懸命やる人、かな。

猛 なにが、一生懸命だよ。おまえらね、魂胆はわかつてんだよ。なあ、真、行こうぜ。

おれ、一生懸命やるから。

おい。

真 猛 見ててくれる？

美佳子 うん。

猛 情けねえ。

皆、一緒に去る。猛残される。

猛 馬鹿じやねえの。ちつ。

沙也加戻つてきて。

猛 なんだよ。

沙也加ウインクする。(じゃなければ、役者さん得意のものでよし)

猛 だから、なに。

沙也加 行こう。

沙也加行く。

猛 おい。・・・なんか、ちょっとといいかも。おーい、ちょっと待てよ。仕方ねえ
なあ。

猛、去る。

八、奈津唐、「すごいぜメルヘン商店街」を披露すること

今は、「show一day guysデビュー準備委員会室」になつた商店街の
倉庫兼詰め所で、沙織と春子がチラシを折つている。

春子 よし、こつちは終わり。

沙織 あれ、早いな。

春子 こういうのは得意なんだ。オーディションももうすぐだし。頑張らなきや。

沙織 ジや、これ。(と自分のところから大量のチラシを渡し、驚く春子に) 清さん
が、あちこち頼んで、DMに入れてもらつてみた。

奈津唐が飛び込んだ。

奈津唐 さあ、約束の三日が経ちました。昭雄さん、あなたの音楽人生と僕の音楽人

生の勝負の時がやつて参りました。昭雄さん、昭雄さん、昭雄さん！！

春子 昭雄さんは、今日はいませんよ。

奈津唐 なにー、逃げたか。あなたどなたですか？

春子 はい・・・

沙織 春子さんて、清さんの従姉妹で、ダンスの先生。振り付け担当。

春子 よろしくお願ひします。

奈津唐 こちらこそ。ダンスイズビューチフオ、あなたもビューチフオ？

春子 え。

沙織 ああ、馬鹿だから。

奈津唐 聞いていただきましょ、あなたのダンスマインドに届けちゃいましょ、

春子さん。三日三晩で書き上げた傑作です。明るいフォーク、四畳半の世界から青空の下へ飛び出した、ニューフォーク、題して「すごいぜメルヘン商店街」

奈津唐、ギターを弾きながら歌う。

すごいぜ いけるぜ ぼ、ぼ、ぼ、ぼくらの商店街
右が魚屋左に八百屋 その次美容室にラーメン屋
夢がいっぱい ふくらんで
ふくらみきつて はじけておちた

すごいぜ いけるぜ 地蔵通り、メルヘン商店街
風が吹いてた 青空

すごいぜ いけるぜ ぼ、ぼ、ぼ、ぼくらの商店街
右がコロッケ左に時計 その次はおもちゃ屋本屋
夢がいっぱい ふくらん ふくらみきつて はじけておちた
すごいぜ いけるぜ 地蔵通り、メルヘン商店街
風が吹いてた 青空

奈津唐 どうですか。Show一天 guys デビューカー、「すごいぜメルヘン商店街」。春子
さん、どんな振り付けになるんでしょう、か。あれ?

春子、沙織、あまりのおかしさ?くだらなさ?に退場している。奈
津唐いつの間にか一人になつている。奈津唐、「あれ」「どこにいっ
たのかなあ」と二人を捜す中、一瞬、例のポーズで曲作りに苦労し
ている昭雄が浮かぶ。

九、商店街キッズの特訓

激しいダンス音楽。子どもたちが踊っている。猛、真、美佳子、沙
也加、雅美。真が間違えた。

猛
真、違うつて。こうだよ、こう。

畜生。ええと、こうで、こうか。

真 猛 うんうん。

美佳子 二人とも違う。こうで、こう。

真・猛 こうで、こうか。

美佳子 そうそう。

沙也加 でもふたりともがんばるじゃない。ちょっと見直した。

雅美 うん。びっくり。

美佳子 才能あるかもしないよ。

猛・真 そうか。

沙也加 それは言い過ぎ。

雅美 お兄ちゃん、いやがつてたくせに。

猛 うるせえ。

美佳子 いよいよだね。オーディション。

真 おう。よつし、もう一回行こうぜ。

皆 おう。

再び音楽がかかる。踊り出す。手にチラシを持ちオーディション会場を目指す若者たちが重なって浮かぶ。敬子、みち、浩明、坂上、そしてさすらいの腹話術師・・・

腹話術師 ああ、疲れた。もうこの年になると歩くのもしんどい。

ゴロー 電車賃ぐらい稼げよ。

腹話術師 そんなこと言つたつて、アベノミクスはボクらには関係ないし。

ゴロー ああ、愚痴はいいよ、愚痴は。

腹話術師 しかし、ようやくあの歌声が聞こえる場所にたどりついたんだから……。

ゴロー あ、そうだ、忘れてた。

腹話術師 なにを。

ゴロー みなさんにお知らせ。

腹話術師 ではゴローちゃん。

ゴロー ただいまより、15分間の休憩だよ。

休憩

一〇、オーディションと結果

オーディションの会場。最終選考前の最後の確認を各自が熱心に行っている。さすらいの腹話術師、相棒と登場して。

ゴロー ね、ね。the show—天 guys のデビューカー曲つてさ、どんな曲になるのかな。

腹話術師

どうだろうなあ。昭雄さんも悩んでいるみたいだし……。

ゴロー そうか。

腹話術師

あ。そろそろオーディションが始まるみたいだよ。

ゴロー では第一幕のはじまり、はじまりー。

清、昭雄、春子、それから徳さん、ゲンちゃんが審査員でやってくる。

清

最終審査に残った皆さん、今日は、ありがとうございます。ほんとうに。最後は踊りの試験です。もう一度自己アピールをしてから課題に臨んでください。昭雄。

別にない。

それじゃ最初のグループから。

春子

橘敬子29歳。これに賭けてみようかなと……、これに賭けてます。よろしくお願いします。

敬子

板東雅美です。（俳優さんが自分で自分の魅力を簡潔にアピールしてくださ）い）スターになりたいです。

雅美

坂上 坂上あきら25歳です。お袋に、晴れ姿みせたいっす。よろしくっす。
美佳子 竹内美佳子です。踊りが好きです。一生懸命踊ります。
真 北沢真です。まだ、下手くそですが、よろしくお願ひします。一生懸命踊ります。

顔を見合わせる、美佳子、真。そこに女装した奈津唐が乱入。

奈津唐 なつから子です。12歳です。曲は、「すごいぜメールヘン商店街」頑張ります。♪すごいぜ いけるぜ！」

会場整理担当のアケミーらが奈津唐を抑えて連れ出す。

奈津唐 やめてよ、やめてよ。あたし、スターになるの。お願い、チャンスをちようだい・・・

などと連れて行かれる。

春子 さあ、行くわよ。

晶子、出てきて応援する。祈る。沙織、哲、出てきて派手に応援する。邪魔なので、アケミーに連れて行かれる。第一グループの踊りが終わつた。人が入れ替わる。

沙也加 林沙也加です。林文具店復活目指して、ガンバ。

みち 主婦です。岡島みち。わたしは・・・アラファイフです。子どもが一人います。少し手がかからなくなりました。だから、まだ自分の中に残つているもの、

それがなんなのか、確かめたいと思つてここにきました。よろしくお願ひします。

猛 猛
浩 明

板東猛。結構燃えます。おもしれえ。やります。
ん、おれか。あんまり口でアピールするのは得意じやねえ。西田浩明。今回
は、腕試しできた。いずれ、中央デビュー、ビッグになる。よろしく。

踊りはじまる。やがて踊りが終わつた。

清

ご苦労様でした。一時間後に集まつてください。合格者を発表します。その
前に、一つだけ。もう一回だけ皆さんにお聞きしたい。本気ですか。これは
豆腐屋の親父の馬鹿げた妄想かもしません。デビューなんて、夢かもしれ
ません。とりあえずは金錢的な保証も何もありません。僕が言えるのは、僕
は、精一杯誇りを持つてやるつもりだということだけです。つきあつていた
だけですか、皆さん。

拍手。暗転。拍手が残る。拍手が消えたと思ったら、明転。
皆が真を見ている。オーディションを受けたメンバー、それから審
査員、商店街の哲、沙織、アケミ、キヨーコらもいる。

昭 雄

以上だ。はつきりいつてレベルが低くて失望している。今のまじや、どん
な素人プロデュースでだつて、デビューなんて恥ずかしくて口に出来ない。
心してやつてくれ。それでは、合格者は残つてくれ。今後のスケジュールの
説明をする。

清ちゃん・・・。

哲

清 うん、昭雄ちゃんに任せてるから・・・、仕方がないよ。
昭雄 どうした。ああ、不合格者は一人か。

真駆け出す。彼は一人、不合格だったのだ。

猛 真！
美佳子 猛。（と抑える）

と、猛立ち止まるが、

沙也加 行つた方がいい。

美佳子 沙也加。

沙也加 男同士だもん。

猛、行く。

昭雄 はつきりいって、合格したものとあいつに差はない。全体のバランスを考えただけのことだ。それから、春子。おまえもメンバーにはいってくれ。

春子 ・・・はい。

清 それでは、地蔵広場で行われる秋祭り特設ステージでのデビューライブ、その日のシングルCD発売。デビューライブはテレビ局での生放送も決定します。

皆、どよめく。

清

しかし、テレビ局は地元のU局、ノーギヤラ。CDは、自主制作版です。私も売ります。ですが、皆さんも売つてください。皆さんは、これから、古谷昭雄、北沢春子の二人にデビューまで鍛えてもらいます。解散。

それぞれ希望と期待と不安のなか解散。
会場の外。走ってきた真、追いかけてきた猛が登場。

真、真。

くんなよ。

な、もう一回練習してさ、メンバー入れてもらおうよ。
バカじやねえの。仕方ねえよ。落ちたんだから。
ほんと、そう思つてんのか。一生懸命やろうぜ。
一生懸命やつたつて、しようがねえだろが！

真行く、猛追う。
昭雄と春子浮かぶ。

どうしてあたしもメンバーに？

いやならやめればいいだろう。

正直言うと、だれか言つてくれないかなつて思つてた。あいつも入れようつて。

あんなに、目キラキラさせてりやみえみえだよ。

猛 真 猛 真 猛 真 猛 真 猛 真

春子

昭雄

昭雄

あんなに、目キラキラさせてりやみえみえだよ。

春子 ありがとうございます。

昭雄黙つて行こうとする。

春子 昭雄さん。昭雄さんのバンド、エンドレスウェイのテープ貸してくれないかな。もう、ずっと聞いてただけど、聞きすぎて伸びちゃった。だから・・
え。 ねえ。

そんなもん、どこにもねえよ。

昭雄行く。一人残る春子。

十一、レッスンはじまる、それぞれの想い

show一天 guys の「大人グループ」に春子。踊りのレッスン。踊り終わった。

じやあ、休憩。でも、ほんのちよつとだけー。

きつついなあ。

がんばろうぜ。

無駄に元気だな。

敬子 もう足ぱんぱん。

みち 若いんだから。

敬子 岡島さんこそ。

みち はは……、笑う力がない。はー。

皆、疲れているが充実しているようだ。

敬子 今日は、若いグループは?

浩明 オレもわけえんだよ。

敬子 はいはいすいません。

春子 うん。学校終わつてから。敬子さんは、会社大丈夫なの。

敬子 こういう時のために有給ためてあるから。

春子 そうか。社会人には、そういうのあるんだものね。

敬子 自分の時間を会社に捧げてるんだから、権利は権利できちんと活用しないとね。

坂上 デビューしたらどうすんですか。会社なんて言つてられなくなるかもしけな
いつすよ。

浩明 そうなりやいいけどな。

敬子 そしたら、その時考える。やつぱりやりたいことやらなきや。

みち ふーん。

敬子 え。

みち いや、人生をそんな風に考えられるつていいなつて思つて。

坂上

お、さすが主婦。人生の重みが違いますね。
うるさいよ。

みち

主婦から、デビューなんてよ、結構話題になつたりして。

あ、ママドルね。

そんな格好いいもんじやないけど。

……あの、岡島さんは、どうしてですか。

春子

みち

春子

みち

春子

みち

春子

みち

私、田舎帰つてきて、子ども達にダンス教えてたんだけど、……ようやく今度たまつてたものはき出せるかもしれない、つて。岡島さんも、もしかするとそういうことなのかなって。

なんだ、それ。

浩明

みち

うん。そうだね。でもね、主婦もいいんだよ。旦那の面倒みて、食事つくつて、ハンバーグうまくできれば嬉しいし、子どもつて可愛くて、大きくなつて生意気になつてきたら、それはそれで嬉しいし。充実感だつてないことがつたしね。

じゃ、どうして？

だから、なんだよ、それ。

おこちやまは黙る。

なんだと。

春子

浩明

敬子

浩明

みち

なんでだろうな、ほんと。結婚するまで、子どもの時から、こういうの憧れて……。

不思議なんだよな、このオーディションのチラシ見て、一回は、捨てたの。
それで、ああ、捨てなきや良かったなあって思つたら、家の台所のテーブル
の上に乗つてた。

浩明 捨て忘れたんだろ。

敬子 ロマンがないわね。

みち うん、そうかもしれない、わざと捨て忘れたのかもしれない。でも、もう一度あのチラシ見たら、それこそたまつたもの全部できちゃつた。その後は、ここまで一直線。

旦那さんは。

敬子 あれこそ鳩が豆鉄砲くらつた顔つていうのかな。未だに呆然としてるみたい。
みち へえ。

でも、家のこととか何にも出来ない人だから。ほんとこれでいいのか、主婦

岡島みち。

敬子 だいたいよ、そんなふうに甘いもんじやねえんだよ。こういう世界は。
坂上 そんなによくしつてるのかよ。

浩明 しらねえよ。だけど、どんなスーパースターだつて下積みの時期はある。オ
レは、自分を信じてるんだ。岡島さん、あんた、子どもの頃からの夢だつて
言うんなら、そいつを一回諦めたんだる。一回逃げた奴が、また夢おつかけ
られるほど、この世界は甘くねえよ。そつちの誰かさんみたいに、仕事と二
股賭けてるよりマシだけどな。

・・・腕試し、つていつてたよな。

坂上 明浩

ああ。

おまえも、結局この仕事、マイナーだと何とかバカにしてるんじゃないの

九

浩明

なんだと。オレはな、フリーターやつてどんなチャンスでも逃さない、ステップの一つにしようつて、網はつてんだ。

それが、そのステップとか言うのがバカにしてるって、いつてんだ。

春子

敬子

いいじやない、動機なんて、きつかけなんて。人は人、それぞれよ。私なんて、男と別れて、それがきつかけなんだから。バカみたいでしょ。しかも今でもその人会社の上司。バカみたいでしょ。どう？

男、一人黙る。

敬子

さあ 稽古稽古
もうちよつと続けてみたら。

敬子

……岡島さんの旦那さんは正社員?
え?
うん、そうだけど……

敬子

なに？

いやぜんぜん悪くないんだけど、そういう感じ。わたしね、七年間ひたすらひたすらエクセルに数字打ち込んでたの。派遣社員なんてそんなものだけど、

でも、どうせそれしかできないんだから、って言われちゃったの、正社員の
その人に。違うつて。派遣は言われたことを文句も言わずに意見も言わずに
やり続けて時給もらつて、毎日毎日やめたいって思わない日はなくて、それ
でも三ヶ月ずつしか雇つてもらえないくて、不安で、首になつた仲のいい子な
んてそれから派遣の仕事でさえ何処にも受からずに田舎へ帰つちやつたり、
もうどうすんのつて思いながら、それでも、その人と会社で目があつたり、
短いメールが来たり、それでどうにかこうにかやつてたのにね。それはない
だらうつて。すごく悔しかつた。

ぶつとばしてやりやあいいんだよ。
ね。でも、目覚めちやつた。

浩明 なんだよ、それ。
 どうせ、不安だ、

敬子 どうせ、不安で、我慢して、これからお金持ちになろうっていうんじやない
なら、これまでと全然違うふうに毎日を過ごせるんじやないかって。
それでか……。

でもよ、会社はやめてないんだろ。

それが大人の恼ましいところだ。あー。だつて自信なんてないもの、自分に。まつたく。あ、何でこんなこと話しちやつたんだろ。すいません。いや。オレは、おふくろのことがあつて、

敬子 あ、言つてた。

浩明 お、マザコンか。

ああ、そうかもしない。

なに？

母一人子一人で、ずっとだから。

ふん・・・。

子どもの頃、うん、お袋が働いていて保育園に預けられて、そこでクリスマス会つてのがあった。なんか似合わないけど、教会がやつている保育園で、今考えれば安かつたんだな、お金が。そこで、イエスキリスト生誕劇をやつたんだ。

アーメンソーメン冷やソーメンつてか。

ちやかさないの。しかもつまんない。

何の役だったの。

羊飼い3。

似合いだなあ。

台詞は一言。「あ、流れ星だ。まぶしい」。キリストが生まれるときに流れ星が落ちる。それをたまたま見ていた羊飼いの台詞。まぶしい！ ていつたら他の羊飼いもぱつと目がくらんでふせるんだよ。立つて！

みな、反射的にあるいは漠々と立つ。

坂上 「あ、流れ星だ、まぶしい！」

坂上

浩明

坂上

浩明

坂上

浩明

坂上

浩明

敬子

みち

坂上

浩明

坂上

浩明

坂上

浩明

坂上

「あ、流れ星だ、まぶしい！」

みな「うわっ」と座る。

浩明 なんだよ、これ。

坂上 「まぶしい！」

また、みんな「うわっ」と座る。

そうそう、これが楽しくて。みんないつせいにそうなるのが。

坂上 浩明 暗い。おまえ、絶対いじめられてたな。

それで、おふくろがほめてくれた。仕事が忙しいから来ていらないと思ったお袋が来ってきて、ほめてくれた。上手だつたって。今まで一度も褒めてくれたことなんかなかつたのに。もう一回褒めてもらおうと思って。

おまえ、保育園からあと一回もほめられたことねえのかよ。

坂上 浩明 ありません。

暗い、暗い、絶対暗い。

おふくろはね、テレビが好きなんだ。いつもテレビを見てる。笑うわけでも泣くわけでもないんだけど、ずっと見てる。今じゃ、仕事もやめたからほんとに一日テレビ。すっかり年をとつた。あ、ぼく、結構年がいつからこの子どもなんです。どう思います？

え？

浩明 坂上 僕はおふくろになにをしてやればいいですか？

ああ。じゃ、バイトして新しいテレビでもかつてやれよ。おつきいやつ。

坂上

浩明

違います。

え。おまえなんか目の色違つてるよ。なんか危ないなこいつ。キャラ変わつてんじやん。

坂上

僕がテレビに出ることが、お袋を喜ばす一番の方法じゃないでしょうか。違いますか？ テレビに出たら、またほめてくれるかも知れないし。（にやつと笑う）

坂上、本当にキャラクター変わつてます。

浩明

坂上

やめろ！！

あれ、どうしたんだろう。すいません、なんか変でした？

と、戻っている。

変だつたよ。

いやあ、時々なるんですよ。

なるなよ。

坂上

浩明 浩明

とにかく、オレがテレビに出たら、喜んでくれるかも知れない。おれ、オーディションに受かつたことも、まだ、おふくろに言つてないんですよ。こういうのつて、急にいつた方がきつとびつくりして、喜ぶんじやないかなつて。オレも半端な人生送つてきたから。すげえちつちやいことかもしんねえけど。あんた何感動してんのよ。

浩明 敬子

（泣きながら）感動してねえよ。

敬子 浩明 (や
はり泣きながら) おう、坂上、だからなんだつてんだよ。

だから、やるつきやねえつてことじやねえか。
よつしやあ、おまえらわかつたか。

春子 浩明 さあ、休憩終了。

みち よし。デビュー曲、もう上がつてくるんだよね。

うん・・・

すつごい楽しみ。

春子 敬子 あの今日は、昭雄さんは?

春子 坂上 うん・・・。今日はちょっと。東京のほうへ一度帰つたみたい。忙しいらし
いから。どうかしたの。

坂上 浩明 いや、何でもないんですけど。昭雄さん、Q Pガールズの面倒みてるつて。

へえ。

春子 浩明 うん。昭雄さんそういうつてた。どうしたの?

春子 坂上 そうですか、なんでもないつす。やりましよう。練習。

うん。

みな、返事をして、それぞれの思いで立ち上がる。再び練習。
真がのぞいた。踊りの振りをまねしてみる。熱が入つて来た瞬間、
後からやって来た美佳子に気づき、逃げた。

十二、デビュー曲完成？

昭雄が逃げるようになってきて、清が楽譜とCDを手に持つて追いかけてきた。

清 昭雄ちゃん。オレ、オレ素人だよ。素人だけど言わせてもらう。これ、なんだよ。

昭雄 ・・・

清 これがほんとに、show—day guys のデビュー曲なのか。

昭雄 ・・・

清 なあ。

昭雄 そうだよ。それがデビュー曲だ。

清 冗談だろ。

昭雄 いやならやめれば・・・

清 昭雄ちゃん。これなら奈津唐の曲のがずつといいよ。オレが昭雄ちゃんに頼みたかったのは、こんなんじやない。いや、曲の善し悪しじやないんだ。そんなのオレ素人だし、でも、これは、ヒットした曲の歌詞とメロディー寄せ集めただけじやないか。な、もう一回・・・

昭雄 勝手にしろ。オレは降りる。

清 違うよ、オレはお前の素直な思いを、一生懸命練習しているあいつらみた思

いをそのまま曲にして欲しかったんだ。

昭雄

バカ野郎、素人が。いいか、歌つてのは売れなきやなんの意味もねえんだ。売れて初めて歌なんだ。客が金出すものがオレたちの仕事なんだよ。素直な心とか、一生懸命とか、一番遠いんだよ。

春子がいつの間にか来ていた。

清

昭雄ちゃん・・・。バンドやつてたときと、バンドのライブのテープ聞きながら、一晩中飲んで話してたことと、まるつきり正反対のこと言うんだな。・・・。

昭雄ちゃん。オレ知つてんだ。

清

東京帰つてどうだつた。バイト大丈夫だつたか。こんなに休んで首になりそ
うだつたんだろ。

・・・

昭雄

オレ、実は、事務所へ電話したんだ。ほら、前に名刺もらつたじやないか。バンドやつてるとき、預かりになつたからつて。最近じやないよ。このプロジエクト思いついたときすぐさ。

春子
清さん・・・

春ちゃんも聞いてくれ。昭雄ちゃんに頼もうと思つた。でも、オレ、一生懸命やりたかつたから調べたよ。今、古谷昭雄は何してるかつて。で、教えてくれたんだ。親切な事務の人が電話でき、ああ、あの人、今、この世界とは

何の関係もない・・・

やめろ。
(春子を見て) なんだ、そつちも別に驚いてないんだな。

春子

坂上くんが……、メンバーの坂上君の知り合いがQPガールズの事務所のマネージャーだつて。それで、昭雄さんのこと聞いたことないつて。そういう

てたから。

昭雄 なんだよ・・・、みんな知つてんじやないか。

昭雄、行こうとする。

ダメだよ。

昭雄

行せやため

清

「馬鹿が、

13

だから、

昭雄 逃げたんだよ。

清 · 春子

いわれたんだ。売れてから好きな曲かけばいいって。担当のプロデューサーが。もう固定ファンがつき始めていて、でも、卖れたいんだつたらそんな曲書いててもダメだつて。そういうのは売れてから、好きなだけやりやいいつ

て。で、オレ、結局そういう曲はかけなかつた。それで・・・逃げたんだ。

どうして・・・

春子 ここを出でいく時、おふくろに言つた。駄菓子、五円とか十円でよ。

春子 なつかしいな。

昭雄 嘘つけ。おまえだつて、テレビでやつてたお菓子食べたいつて、隣町のスープまで一緒にいつたじやねえか。売つてなかつたからな、うちにはそんなもの。毎日毎日、五円玉と十円玉、こう積み上げて数えてさ、たまんなかつたよ。オレは言つたよ。「オレは、絶対、絶対、そんなふうにならねえ。好きなことやつて生きていく」

あき そして、わしはこう言つた。

昭雄 おふくろ。

清 德さん、ゲンさん・・・

昭雄の母、あきが杖をつきやつてきていた。徳さんとゲンさんが寄り添うように。

あき

「バンドかなんか知らんが、やりたきややりやええ。だが、わたしが好きで駄菓子屋やつとることがわからんようじや、人様に音楽を聞かせることなんてできん。どこへでも行け。勝手にいけ」・・・。おまえは、昔から外面ばかり良くてな、大きいことばつかりいうやつじやつた。ふん、久しぶりに帰つてきたかと思えば、ろくに顔も見せず口も聞かず、ゲンちゃん徳さんに話を聞いてきて見りや、やつぱりこのざまか。この馬鹿、馬鹿・・・

と杖で打つ。

あき 五円、十円で生きてきたんじやろ……なんでわからんのじや。なにが音楽じ
や。

皆止める。

あき わたしが、なんでおこつとるのかわかるか。

昭雄 ・・・

あき お前が出ていく時、わたしや、店も終わらせる潮時と思つた。ほつともした。
小銭を握りしめて走つてくる子ども達の顔が見られなくなるのは、たまらん
かつたが、それでも、それでいいと思つておつた。昔は、ベロを真つ赤や緑
にしてあめ玉嬉しそうにしやぶつとつた一人息子が、自分がそうしたいと思
う人生送れるんなら、それでええ。わたしが五円、十円毎日毎日数えとつた
甲斐がある、そう思つた。それが・・・。

昭雄、行こうとする。

あき 昭雄、行くな。

昭雄 おふくろ……

あき いや、がんばれとはいうまいよ。だけどな、もうちょっとだけ、ここにおつ
たらどうじや。おまえはまだ若い。これから、どこへでも、また行ける。だ
から頼みごとじや。わたしらはもうここ以外にどこにも行きようがないんじ
や。徳さんやゲンちゃんもそうかもしけん。ここで死んでいくんじや。

あきさん……。

わたしのためにはいわん。力を貸して……。

あき
わたしのためにはいわん。力を貸して……。
昭雄
オレには、その力がないんだ。人が金出して聞きたくなるような曲がかけねえんだ。

沈黙。

晶子と、女房と宮城に行つたんです。
え。

漁師さん達が集まる商店街が流されちゃつて……。新婚旅行の場所だつたら、なんだかいてもたつてもいられなくなつて……。でも、みんなすぐくて、仮設なんだけど、どんどんお店が建てられていつて、逆にこつちの商店街の話聞いてもらつて励まされたりして……。みんな、いい顔してお店やつてて、集まつてて……。だから、ここでもなにかできないかなつて……。
あき
そうじやつたか。

それで、最近思うんだ。お客様が喜んでくれる豆腐作ろう作ろうつて、ずっとと思つてたんだけど、違うんじやねえかなつて。

あき
清さん、どういうことかな。

草脇
清
もちろんお客様が喜んでくれなきや仕方ないけど、まず自分が納得しなきやしそうがないんじやないかつて。でも、本当に自分が納得するつて、すごく大変なことだなつて。ようするに自分で本当に旨いと思う豆腐をまずはつくらなきやつて。せつかく豆腐屋やつてるんだから。

わしもわしのコロッケが一番好きじや。

徳さん。

わたしは昭雄さんの曲好きだつたな。

言つてたんだ。

え。

電話でお前のこと教えてくれた、事務所の人が言つてたんだ。エンドレスウエイのファンだつたつて。あいつはいい曲を書いてたつて。

嘘だ。

嘘じやない。その人は、奴には運がなかつた。運がなかつただけなのさ。おれはあいつの大ファンだつたつて。そう言つてた。

へつ！

昭雄ちゃん、オレが電話して、この話しもちかけた時、すごく嬉しそうだつたじやないか。

昭雄。

たとえ、そだとしたつて、どうせ・・・

昭雄さん、覚えてる？ ほら、この前帰つてきて初めてあつた時、虹の話したの。

虹・・・
虹の話・・・

うん。私が、子どもの頃、虹の向こうに何があるつて、聞いた時のこと。歩

春子

清 昭雄

春子

あき

清 昭雄

清 昭雄

清 昭雄

春子

清 徳

いていこうつて。え？ つていつたら歩いていけばいいつて、虹の向こうまで。清、春子、行くぞ、虹の向こうへ。何の迷いも、何のためらいもなく昭雄さん歩き出した。独りで先頭に立つてどんどんどんどん。

ああ、あつたな、やつこや！」

ね。

それで、どうした。

春子

歩いたわ。疲れたつて
てない、歩こうつて。

それで、どうした。

え。

それで、虹の向こうには何があつた？

それは
・
・
・

ほら、歩いていつたつて、結局、何もない。なにもなかつたんだ。

違
う。

なに。

歩いて、歩いて、歩いて、歩いて……それで……

なにがあつたんだよ。

• • • • •

いや、待て。

春子

「walkin'」のメロディが聞こえてくる。春子、あき、清が昭雄を見て「おー」と叫び声をあげる。昭雄はと見れば、例の考える時の頭をかく癖を激しく。直立不動真剣なまなざしである。

あき
あ、あれは・・・

昭雄さん、ようやく本気で考え始めたのね。

あき
ど、どういうことじや。

あれはね、昭雄さんが何かを考える時のポーズなの。

そして、あの直立不動になつた時、その感性と頭脳はフル回転する。あいつが中学の時、旺文社模試で全国、

全国？

全国128位になつた時も、数学の試験中あのポーズが出た。
まだ小学校に入る前じや。あのポーズで次々と無くしものの在処を言い当たるものじや。昭雄。

なんだかわからないけど、すごいにやあ。

昭雄さん、曲のインスピレーションが来てるのよ。

ほんとか、昭雄。

(うなづき) おー。

来た。

来てます来てます・・・

昭雄
春子

春子
昭雄

草脇
春子

春子
清

春子
昭雄

徳
春子

徳
春子

徳
春子

あき
春子

みんな日々にがんばれ、来たか、どうした、等と叫ぶが、またしほむ昭雄。皆の応援でまたふくらむ。「来た来た来た」盛り上がるみんな、しほむ、がつくりする。この繰り返しの中、「walkin」のメロディが次第に大きく。

十三、トドヘル一組「walkin'」完成-----

「walkin」がばたんと落ちると真が独りいる。独りで無言でステップを踏む。猛やつてくる。

違うぜ。それ。

真行こうとする。

逃げんなよ。

なに。

ステップ違うんだよ。それ変わつてさ。こうだよ。

猛スティップを踏む。真、無言でやってみる。

違うつて。こう。

真、やつてみる。

ああつ。もうだつて。

真、やってみる。

一緒に行くぜ。 1, 2, 1, 2, 3,

二人のステップが見事に合う。

やりやできるじゃねえか。

うるせえな。これ、遠くから見るとわかりにくいんだ。
うん。でも、よく覚えてるよな。すげえよ。

・・・行くわ。

美佳子と沙也加来る。真、黙つていこうとするが、

猛 猛 猛 猛 猛

やりやできるじゃねえか。

・・・

美佳子 楽しい？

え？

美佳子 一人で、踊つて楽しい？

沙也加 美佳子さん・・・

真 一人で踊つても、うん、楽しいよ。踊るのおもしれえから。

美佳子 じやあさ、わたしたち良く自主練習してるし、みんなで踊つたらもっと面白
いんじゃないかな。

真 ・・・

美佳子 私は、そうだな。

沙也加 なるほどね。

美佳子 美佳子、一生懸命やる人と、それから楽しくやる人が好きだな。

•
•
•

孟真

おい、おもしれえことつてさ、案外、その辺にころがつてんじやねえのか。
そう思つてんだろ、ほんとのところはよ。

・・・わかつたよ。

ん、
なに
？

わかつたつてんだよ。

遅すぎんだよ。

真
おー。
よっしゃ。

美佳子 あたしより、猛か。

沙也加 結局男の友情ね。

四人笑い。そこに雅美やつてくる。

雅美 ねえ、聞いて。

沙也加 どうしたの。

雅美 せーの。

雅美歌う。

Let's walkin' Let's walkin' Let's walkin'

猛なんだよ。それ。

美佳子 もしかして。

雅美 うん、show一天 guys ビデオ一曲「walkin'」だつて。

真
出来たのかよ。

雅美 うん、今、みんな集まつてる。

沙也加行こう。

ああ、行こうぜ。

皆駆け出す。真、立ち止まるが、美佳子と目が合う。一人駆けていく。「walkin」」が流れている。

十回、I Jが walkin`

「walkin'」が流れ続けている。皆、「show—天 guys」の一準備委員会室に足早に向かう。

草肠

やつたらしいな。

德

ああ。
い、行こう。

二人行く。よろよろとあき。

あき よー、よー、よー、よー、やつた。

続いて、八百屋の親子。

おい、沙織。ウォーキンってのはなんだ？
父ちゃんこれこれ。1, 2, 1, 2, 1,

哲 沙織 父ちゃんこれこれ。
ほう。それか。1, 1,
1, 2,
2, 1,
1, 2,
2, 1,
2, 2,
2, 1,
2, 2,
1, 2
おめえもよ、参加したらど

うだ。メンバーでよ。

沙織
え、ええ、ええ、

哲
な、なんだよ、どうしたつてんだよ……

清、晶子、春子リズムに乗って歩きながら、

晶子
なんだかうきうきするような曲だね。

春子
思い出す。

清
歩け歩け。

続いて、

キヨーノ
ねえ、あたし「」が好き。

アケミ
いいわよねえ。あたしもメンバーに入りたくなつちやつた。

奈津唐
(出てきて) オレも。

アケミ・キヨーノ笑い。

奈津唐
なにその笑い? 何? 「walkin」「walkin」

みなが「show→ guys デビュー準備委員会」に集まつた。楽譜
とCDが配られる。その様子を見て、昭雄と清、がつちり握手。皆、
明日のために散つて行く。

十五、怪しい新聞記者あらわる

曲が完成してから一週間ほど経つて。男が、稽古場を伺うようにしてうろうろしている。清がそれを見つけて声を掛ける。

清 記者 あの……

ああ！

どちら様ですか。

びつくりした。

はあ？

あの、商店街の方ですか。

ええ。

あの私こういうものですが。（と名刺）

記者さん。

タウン誌ですが。こちらで、例の、ええ、ショウテンガイズですか。練習が。

the show—*day guys*

へ？

切つて、切つてください。ショウで。切つて、テンガイズ。the show—…

：天 *guys*

ああ、なるほど。しかし、新聞記事じや切れませんからね。

……で？

ええ、面白い試みだなあと思いまして、取材を。

清 記者

え、そうですか。ありがとうございます。実は私、商店街会長でして。

ああ、それはそれは。

それじゃ、とりあえずこちらへ。（と行く）

はい。あの。

はい？

商店街の皆さんのはどうですか。

といいますと。

このプロジェクトに関して。

正直いいまして未だに関心を示さない方々もたくさんいます。

地元の市民の反応は。

同様に。まだ宣伝不足ですし、これからでしょう。

（にやりと） そうですか。

あの、その辺りも含めまして話を聞いて下さい。曲も完成しまして、もうデビューまで最後の仕上げに入つてます。今ちょっと休憩で食事に。さ、さ、さ。

わかりました。

二人歩きながら、清「そもそもこのプロジェクトは、ただ単に寄せ
せじやないんです・・・と去る。

記者

記者
記者

記者
記者

記者
記者

記者
記者

記者

十六、練習すすむ ラーメン屋再び

The show一天 guys のメンバーが集まつてくる。稽古が開始されるのだ。まずは思い思いにストレッチ、振りの確認などなど。これをバックに、会話が行われる。アケミ、キヨーコ現れる。デジタルカメラを回す。

キヨーコ いつぱいとつといてね。

アケミ うまくとれてるかねえ。

キヨーコ 誰でもとれるから大丈夫。いよいよホームページも立ち上げたから、そこにばっちりのせるの。「the show一天 guys 稽古場日誌、デビューへの道」お母さんも書込んでね。

アケミ ああ。でも、わたしはそういうの苦手で。

キヨーコ 何してるの？

みれば、アケミは、いろいろな色の布を持ってメンバーを見ている。

アケミ うん、どの子にどの色が似合うかなあつて。

キヨーコ どういうこと？

アケミ 衣裳考てるの。衣裳係だから、なんてつたつて。もちろん、あんたも一緒に考えて。

キヨーコ きれいなブーケの組み合わせ考てるみたいで楽しいかも。

アケミ そうだね。楽しいね。

キヨーコ うん。

二人消える。徳、ゲンさん現れる。

あは、大丈夫かな。ああ、あの顔色なつもう大丈夫だろう。

なんだ？

草
脇

え、ああ、ほら坂上くん、昨日腹が痛くて下痢してたって言つてたから。もう大丈夫だな。

そんなことわかるのか。

毎日見ていりや、顔色ぐらい分かりますよ。

徳へ、毎日か。相變わらず、商売は暇そうだな。

徳さんこそ

お。
猛の今日のターンは切れどるな。

○

二人消える。春子、昭雄やつてぐる。show—天 guys、メンバーが

昨日のどこまで、一度やつてみてくれ。

リズム、アームス、気を付けて。

皆
は
い

昨日練習したところを歌い踊る

よし、そこまでは歌と踊りはだいたい入ったようだな。

はい。

猛
浩明 苦労したぜ。

ま、頑張ったかな。

皆のなかで笑い。

昭雄

おまえら勘違いするなよ。歌覚えて踊り覚えて、そんのはあたり前だ。そ
こになにをのつけていいけるかだ。すべてにおける基礎体力、歌なら呼吸、発
声、アーチキレーション、踊りなら、表現の手段としての自分の身体への認
識、客への意識、柔軟性、リズム感、すべてが足りないんだ。おまえらの百
倍才能ある奴らが世の中にはうろうろしている。お前らと違つてチャンスさ
えない連中もたくさんいるんだ。そいつらが、お前らの百倍努力してる。今
のままじや、運がいいだけ、そいつらと差は開く一方だ、いいか。ちょっと
待つててくれ。春子。

春子を呼ぶ昭雄。皆は、畜生といって、筋トレをはじめる奴。踊り
の確認をする奴、などさまざま、だが、それぞれやる気に溢れてい
る。

昭雄 あそこのところは、後ろ向かせないでくれ。

春子 ここ?

あれじや、歌詞が死んじまう。

でも、その後のこと考えたら、一度向いてたほうがインパクトあるんじやな
い。

昭雄

インパクトじやない。あそこはみんなの顔が見たいんだ。

春子 ・・・。わかった。みんな集合。振りを変えます。えー、ここんとこ、こう
だつたのを、こう。こうだつたのを、こう。

と練習する。それを見ながら清と記者。

へえ、結構本格的ですね。

清 記者 そりやそうですよ。これでもプロを目指しますから。

記者 ですか。なるほどね。

昭雄 春子 プロを目指してるんじゃない。プロになるんだ。

春子 それじゃ、振り変わつたところ気を付けて。

春子の合図で音楽かかる。皆が新しい振付けを踊り歌う。

春子 どう?

昭雄 オーケーだ。

春子 じゃ、みんなそういう感じで。

皆 はい。

春子 次のところなんだけど。
昭雄 うん。

ラーメン屋が奥さんとやつてくる。

ラーメン屋 あのー。
清 昭雄 ドラゴン亭さん。

ラーメン屋 ああ、どうも、こ、こんにちは。

清 どうしたんですか。

ラーメン屋 すいません。あの……

奥さん あの、顔出せた義理じやないんですが・・・これ差し入れです。餃子とか。うちのものなんですけど。

徳さん、ゲンさん、沙織、哲もやってきた。

徳 ドラゴン亭さん、何か訳がありそうじやな。

昭雄 みんな、ちょっと休んでろ。

奥さん 練習のお邪魔でしそうが、皆さんに聞いて頂きたいんです。あんた・・・

ラーメン屋 あの、実は……

奥さん アーバンの件、なくなつたんです。

哲 なくなつた？ なくなつたってのはどういうことだい。あんた、ドラゴン麵を売り物につて誘われたんだろうが。

ラーメン屋 はい・・・。

奥さん こつちから断つたんです。

草脇 そりやどうして。

哲 わかった。あまりのこつちの盛り上がりに、自分たちのことだけ考えてたのが、いたたまれなくなつたんだろう。

ラーメン屋 違います。

哲 なに。

ラーメン屋　　いえ。あの実は……練習もちよくちよく見させて頂きまして、それから、そこの若い方々もお店に来て頂いて、

浩明、坂上　　ごちそうさまでした。

坂上　　チャーシュー、サービス有り難うございました。

哲　　へーえ。じゃあ、なんだよ。

奥さん　違ったんです。アーバンは、うちのラーメンを認めてくれたんじやなかつたんです。

ラーメン屋　　ラーメンの種類をふやせつて、うちに味噌や塩や豚骨もやれつていうんです……

哲　　なんか駄目なのか？

ラーメン屋　　あんた、何言うんだ。

哲　　え。

沙織　　たくさん種類があつたほうがよさそうだけど。

春子　　うん。

徳　　なんもわかつとらんのう。ラーメン屋の売りはなんじや。

奥さん　アーバンは、ただ単にこの商店街から少しでも人が集まる店を無くしたかったのと、うちがマスコミに取り上げられた名前が欲しかつただけなんです。くやしい……

ラーメン屋　　スープなんです。種類を増やすなら、スープもそのラーメンに合わせて、全部作らなければいけません。でも、私ら一人でやる店で、そんなこと

は出来るわけがない。

哲

なんでなんでえ、人でも何でも増やしてやりやいいじやないか。

奥さん

味が落ちます。

徳

食べ物屋の最大の誘惑は、店を大きくすることじや。大きくした店は確実に味が落ちるんじや。

奥さん

そのことをアーバンの担当者にもいったんです。そうしたら、これまでそんなことをいった人は初めてだつて。

草脇

これまでもその場所その場所の店引き抜いてたわけじやな。

奥さん

ステープは、業務用のステープ使えば問題ないでしようつていうんです。

清

業務用のステープ。

徳

使つてる店もおおいそうじや。

奥さん

でも、そんなのうちの父ちゃんのラーメンじやないんです。

ラーメン屋

わたしは、わたしは、そんなものを出すくらいなら、ラーメン屋をやめます。

奥さん

あんた。

ラーメン屋

たかだかラーメン屋にも誇りや意地があります。今日、はつきりと話を断つてきました。（泣く）

感動するゲンさん。旦那を抱きしめる。徳さん、奥さんを抱きしめる。徳さん、とてもしつこくて、皆に引き離される。

ラーメン屋

いいなつて思つてたんです。なあ。

奥さん ええ、みんなさんの歌。

ラーメン屋 それで……

奥さん とりあえず差し入れです。

昭雄 そういうことなら、練習の後、みんなで頂こうじゃないか。

皆口々に、はい、そうだな、など。

奥さん あの出来る限り協力させて下さい。

ラーメン屋 よろしかつたら、お願ひします。

清 大歓迎ですよ。

哲 アーバン来るなら来い、だ。

徳 うん。

沙織 なんか燃えるわねえ。

春子 うん。

奥さん あたしも燃えてきました。

徳 うん。

徳さん、また、奥さんに抱きつこうとするが皆に引き離される。

音楽かかる。皆の踊りの中、「ふーん、なるほどね」と思案する新
聞記者浮かぶ。

昭雄 さあ、もう練習だ。

十七、商店街さらには活氣づく

皆が、地蔵祭りの飾り付けを作っている。徳さん、ゲンさん、哲、ラーメン屋もいる。「walkin」聞こえはじめる。晶子、足早に登場。

奈津唐 待つたし。待つた、待つた。

晶子 なに？

奈津唐 ちよちよ、ちよい。CD出来たんだって？

晶子 ええ。これ。

奈津唐 おお。（ととろうとするが）

晶子 まだサンプル。これにね、Show一 天 guys の活動資金一口500円カンパしててくれた人の名前を刻み入れて、大量生産にはいるわけよ。

奈津唐 ああ、なるほどね。

晶子 はい、お金。

奈津唐 え。

晶子 CD欲しいんでしょ。お金。

奈津唐 オレ、商店街の幹事なのに？

晶子 バカ言つてんじやないわよ。幹事だからでしょ。そうね、とりあえず百枚ほど持つていつていいわ。

奈津唐 なんで？！

晶子 儲かってるらしいわね。一日の売り上げ42万5千362円。

奈津唐 いや・・・、ちょっと大きさに言つたから。消費税も上がるし。ね。3枚く

らいで。ね。

晶子 ね、じゃない。CD 販売担当北沢晶子、売つて売つて売りまくるわよ。さあ、
金よこせ。おひ、おひ、おひ。

奈津唐 ひえー

逃げる奈津唐を追う、晶子。
パソコンを操作しているキヨーコが浮かぶ。アケミが覗いた。

キヨーコ すゞいなあ。ヒット数が毎日倍々だもの。

アケミ 本日の書き込みは・・・「商店街の近くに住んでいるものです。先日、練習を見に行きました。汗と熱気、じゅうしても負けてしまいそなうなこんな時代だから、消費税増税大反対、show一天 guys のがんばりに励されます。デビューライブ、必ず行きます。

アケミ・キヨーコ やつたね！

アケミ あ、キヨーコ、あと FB に Twitter 今日は書込んだの。

キヨーコ 詳しくなつちやつて。

アケミ ええ？

電話をしている沙織と哲が浮かぶ。

沙織 ここにちは。地蔵通りメルヘン商店街 show一天 guys デビュープロジェクト

ルームです。先日、お送りしたご案内は届いたでしょうか・・・

哲 おお、オレ、オレだ。久しぶり。でよ、何人、買ってくれるつて。え。50

人、え、5人か、いやいや、ありがてえよ、うんうん・・・

と、昭雄、清、Show一夫 guys のメンバー。沙織が新たに合格しメンバーに加わった。稽古がはじまる。

昭雄
ストップ、ストップ。だめだ、子どもっぽくなるな。子どもには子どもなりの真実があるだろう。悔しいこと悲しいこと頭にきたこと怒ったこと、これは、それでも歩いていこうつて歌なんだ。嘘をやるな。うまく歌うな。続きからもう一度。

再びはじまる稽古。

清
いよいよだな。

昭雄
あと一週間だ。

清
仕上がりは?

昭雄
悪くはない、悪くはないが、何かが足りない。

清
そうか。

昭雄
まあ、最後まであがくさ。

さすらいの腹話術師とゴローちゃん登場。

ゴロー なあ、オレ達さ、この後出番あるの?

腹話術師 どうかなあ。

ゴロー オレ、踊れるのに。

腹話術師 オレ、踊れないからな。

ゴロー ダメじやん。

清 あの、すいません、ご相談が……

練習が続く中、商店街の人たちが現れて、街角でチラシをまく。

「一週間後、アイドルグループがデビューします」
「地蔵元から生まれた show—天 guys です」

「地蔵広場特設ステージです」
「是非きてください。地蔵通りメルヘン商店街です。宜しくお願ひします」
「なにかやつてます。おもしろいことやつてます」
「カンパ金、一口500円でCDプレゼント。しかも名前が入ります」
「show—天 guys を応援して地元の誇りにしましよう」
などなど。

「よろしくお願ひします」の声が響く。真もやつてきてチラシを配りはじめた。

十八、デビューニ日前、奈津唐の口出し

練習中、メンバーに加え、商店街の面々も勢揃いしている。

昭雄 ストップ。ストップ。音楽も止めて。

音楽止まる。

昭雄 どうした、今の。美佳子。

美佳子 ・・・はい。

昭雄 君は、今の最後のところ、どうしたんだ。

美佳子 ・・・

昭雄 ここから見ると、君はまるで手を抜いたようにみえた。いや、手を抜いたんだ。

美佳子 違います。・・・あの、すいません。

沙也加 あの、違うんです、美佳子さんは・・・

昭雄 声が出ないから、自分のパートを歌わなかつたのか。

美佳子 ・・・

昭雄 いいか。この曲のラスト、今のところで、君は苦しくても・・・。どうした。
(皆の様子を見て) 変だな。

沙也加 奈津唐屋さんが無理して声を出すと声帯を痛めるし、大変だからいいって。

だからそうしたんだ。だから、悪くないよ、美佳子さんは。

奈津唐 ・・・っていうか、美佳子も音が出なくて悩んでたみたいだし、アドバイスをちよつと。

昭雄 勝手に音変えないでください。

奈津唐 ・・・

昭雄 勝手なことしないでくれよ。音を変えないでください。この曲は、あそこで

あの音があるから成り立つんだ。そういうハーモニーで成立する曲なんだ。
あそこで音下げたら、ぶち壊しなんだよ。

昭雄ちゃん。オレが許可したんだ。

なに。

みんな一生懸命やつてくれてるし、洋二郎君も本当に美佳子ちゃんやみんなのこと考えていつてくれたんだ。だから、

だから？

だから・・・、みんなの意見も採り入れて、みんなでやつていければいいと思つたんだ・・・

（メンバーに）おまえらも、みんな、そう思つてるのか。（見物の商店街の人たちに）みなさんも、ですか。

そりや、あんたに相談はしなきやいけねえとは思うけど。

みんな素人だし・・・。

でちゅねえ。

アケミ ゲンちゃん。

沙織 すいません、後から入ったのに。

昭雄 わかりました。清、このまえ、まだ何か足りない、オレ、そいつたよな。

ああ。

昭雄 それ、わかつたような気がする。みなさん、一生懸命なの、オレもよくわかります。いや、オレが一番思い知らされて変われた。感謝してます。もう、

沙織

清

昭雄

昭雄

昭雄

昭雄

清

昭雄

清

ここ)のほとんどの方は知っていると思いますが、

清昭雄ちやん。

昭雄

オレは、何の実績もない、昔バンドやってただけの現在ブータロウです。この話もらつて、最初は小遣い稼ぎになるつて思った。そのうち、たまらなくなつてなんとか、自分の仕事として残したい、そう思うようになつた。金じやない。もううはずの金は、みんな寄付しました。（晶子うなづく）でも、今、オレはこれで生きてる、そう胸張つて言える。だから、嘘はつきたくない。たしかに、オレも含めて、みんな素人だ。素人だから、嘘つきたくない。自分が最高だと思うもの目指すことに。

草脇 うん。

アケミえ。

草脇 プロは、どんなときでも合格点を出す。

アケミはやいわあ。

草脇 うむ。

草脇アアミ ナロは、どんなときでも合格点を出す。はやいつう。

立場

直
勝

プロの板前は体調が悪くても素材が悪くても必ず客が満足するレベルのもの

失敗をおそれずに、アーリンジャーなどに出手するぞと思ふが、秀人が

らこそ、少々無茶でも本物を目指していきたい。

徳さん、感激して、昭雄に抱きつく。そこにラーメン屋の夫妻くる。
勘違いする。

昭雄 違うつてー。

徳、昭雄にふりほどかれる。それからどの女性に抱きつこうか探し
てうろうろする。女性皆逃げる。仕方ないので、ラーメン屋の旦那
に抱きつく。皆、あきれで笑い。

清

あんまり、うまくいきすぎて、失敗しちゃいけないって、気持ちが小さくな
つてたのかもな。オレ、自分で誇りが持てる商店街のシンボルになればいい
とかいつといて・・・

本物を作らなきや、アーバンに負けちまうしな。

ちよつと違うんじやねえかな。
なんだよ。

おれたち、アーバンとか関係ないし。
まあな。動機はそれぞれつて奴です。

浩明、敬子、みち、うなづく。

でもさ、オレたちはオレたちで、ちゃんと自己満足しようと思つてんだ。

坂上、敬子、みち、その通りだ。

それはそれでいい。

わたし、アーバンが出来た方がいいんじやないかって思うことあるんです。

春子 清

皆驚く。

春子

ごめんなさい。ここの人間でもないのに。わかりもしないのに。でも、ああいう店が出来たら喜ぶ人もたくさんいると思うんです。駐車場があるし、歩け歩け。

哲

みち うん。ああ、ごめんなさい。私こそ、部外者なのに。でも、私の街にもありましたから。お年寄りとか体の不自由な人、あと小さい子どもがいたりすると、やっぱり便利です。何でも売つてるから一ヵ所で買い物が済むし・・・、春子 ええ、だから、アーバンみたいなところとここみたいな商店街とどっちがいいとか悪いとか、それはお客様が決める事であつて、そりや生活があるから負けたりしたら困っちゃうんですけど、でもやれる事は、私たちに出ることは・・・

みち 誠実にやれることをやることしかない、かな。年は食つても。

春子 私は若いですけど。

みち おい。

沙織 いいと思うものを作る、いいと思うものを売る・・・

徳

春子 だから今の話し、やっぱり音程は変えない方がいいんじやないかって・・・、

ラーメン屋

あの、わたし、おっしゃつてることよくわかります。

草脇

商売の基本だな。

奈津唐屋がガバと土下座する。

奈津唐 奈津唐洋一郎 36歳、間違つていました。すいませんでした。

キヨーノ あと、夢だと思う。夢。夢みたいないこと、わくわくすること、どきどきすること、誠実に夢を見てわくわくどきどきすること、違うかしら。哲 そういうのにぴつたしなんじやねえか。こういうの。show一天 guys アケミ そうよ、その通り。

古谷あき登場。

あき そうじや。

昭雄 おふくろ。

あき わしら死ぬまでいる場所じや。自慢できるといいのう。

昭雄 自分の故郷が嫌いな人間はいない。故郷が嫌いな自分が嫌いなだけ、か。あ、ちよつと関係なかつたかな。

あき いや。昭雄、ちつとはな、ちつとは変つたか。

美佳子 お願いします。練習させてください。声、絶対大丈夫です。出るようになります。

昭雄 わかつた。じゃあ、練習再開だ。

皆 はい。

真が来ていた。

清 真・・・

晶子

真。

(昭雄に頭を下げる) お願いします。

真、おまえ・・・

お願いします。

猛 真 猛 真 猛 真

(昭雄にむかい) お願いします。

二人とも頭を下げる続ける。美佳子が続いた。

美佳子 真、もう一度見てあげてください。お願いします。

沙也加、雅美も続いた。「お願いします」

清 おまえら・・・

商店街の連中も次々に頭を下げはじめた。

「お願いします」徳さん、ゲンちゃんも・・・。最後に、清と晶子がどうとう頭を下げた。みんな、眞の努力を知っていたのだ。

清・晶子 お願いします。

清 今みんなでいってた話とちよつとずれるかもしけねえけど、それでも、やっぱり、お願いします。

皆頭を下げている。さすらいの腹話術師も来た。「お願いします」

昭雄 真、だつたな。
はい。

昭雄

なんで、やりたいんだ。なんで、こんなことしたい。みんながうらやましいのか。

うらやましいのもある。あのオレ、猛と学校でも毎日面白くなくて、それで踊りとかやつたら面白くて、それで・・・

真

でも、ほんとは、ほんとは・・・、好きな女の前で格好つけてえから。ほんとに一生懸命やつて格好つけたい。（泣く）

猛
真
猛
真

猛

このバカ野郎！

みんなにこづかれる真。

よし、練習再開だ。

昭雄さん・・・。

やつぱり、ダメなんですか。

時間がかかるだろう。覚えが悪いんだから、踊りのフォーメーション変わつたら。メンバーが一人増えるんだからな。

みな喜ぶ。

昭雄
猛
晶子

昭雄

昭雄

昭雄

清

昭雄

清

昭雄

いいのか、昭雄ちゃん。

清、ずれちやいねえよ。

え。

この狭い商店街で、毎日、稽古してたの知らないやついないだろう。ほんと

に一生懸命やつてる奴は、必ず結果を出すさ。それに、なによりみんな盛り上がる。

みんな盛り上がる。その盛り上がりの中暗転。

十九、夜。満天の星。商店街の人たちがそれぞれの思いを抱いて明日に思
いを馳せている。

祭りを明日に控えた地蔵広場、夜遅くまで皆が準備をしている。

明日か。
明日だ。

猛・・・、あの、

なんだよ。

あの、あがとりー。

は?

だから、あがとりー。

なに?

あがとりー、だつて。

と、いつのまにか沙也加。

沙也加 男のくせに、はつきりしないの。

猛
沙也加。

猛
沙也加 でも、ちょっとといいかな。

猛、沙也加いい雰囲気。

眞
あれ？ あれ！

三人消えると、徳さん、ゲンさん。

徳
なんですか、ゲンちゃん。

徳
なんですか、徳さん。

草脇
あの、ほれ、なんというか……、わくわくするのう。ありがたいのう。

草脇
明日ですか。どきどきしますね。

一人消えると、敬子、みち、坂上、浩明

敬子
正直言うと、最初こんな企画で何が出来るか、すぐ心配だつた。疑問つて
感じで。

みち
でも、大丈夫だつた。いよいよか。

敬子
うん。結果はわからないけど。

みち
うん。

浩明
おい、明日テレビ映んじやねえか。

坂上
ああ、おふくろ、見てるつてさ。おまえこそ、腕試しつつていつてたけど、ど
うだよ。

浩明

おう。ま、やりがいはあつたな。

四人消えていく。清、昭雄浮かぶ。

清

もしかしてもしかすると、大ヒットして大ブレークするんじやないかなつて・・・、もしかしてもしかして、だぞ。最初はそう思つてたんだ。そういうやいいなつて。だけど、そういうんじやなくて……わからんぞ。

清

昭雄

え？

特別な奴だと思つてた。夢かなえられる奴つて。でも、もしかすると、そういうやねえのかもしけねえな。

清、昭雄を見てほほえみながら消える。いつのまにか昭雄の傍らには春子。

春子

どじうこの衣装？

いいじやないか。

春子

アケミさんがほとんど一人でやつたのよ。うん。

春子

ねえ、あの星の向こうには何があるのかな。さあな。行けば、わかるさ。

春子

レッツ walkin`

二人

春子 なんだか、昔の昭雄さんみたい。

春子、昭雄に寄り添う。昭雄がさうと逃げて。

春子 あれ?

奈津唐がギターを持っている。

奈津唐 いよいよ明日がデビューか・・・(ギターをポロン) オレじゃないけど・・・

満天の星がそれぞれの思いを照らし出す。

二十、地蔵広場特設ステージ The show—天 guys “デビュ—!!

ギターの音が聞こえてくる。ブーリングも? これは奈津唐屋の
「いけるぜ僕らの商店街」だ。汗を拭いて声援?にこたえる奈津唐
屋が浮かぶ。祭り当日。

奈津唐 ありがとう。ありがとう。地蔵通りメルヘン商店街は不滅です。ありがとう。
みなさん、前座は終わりです。今日は、これからが本番だぜ。イエイ。それ
では、その前に、このプロジェクトの仕掛け人。北沢豆腐店経営、商店街会
長、北沢清からご挨拶だ。

みなさん、今日はこんなに大勢いらっしゃっていただきありがとうございました
した。こんな場所で似つかわしくないかもしませんがこれだけは言わせて

清

「ださーい。はつきりいって我々は、大型郊外店に対抗できる魅力ある町作りに、これまでずっと失敗してきました。今回のこのプロジェクトも、今すぐ私たちの店に、みなさんが、お客様が押し掛けてくるかどうかということといえば、成功か失敗かわかりません。しかし、私たちは本当に素晴らしいものを手に入れたのかもしれない、そう思っています。皆さん、いつでも私たちの商店街にいらしてください。」ハハに来れば何かがあります。そう、私たちの心の中に。それから、メンバーのみんな、これまで本当にありがとうございました。君たちに感謝します。

腹話術師・パローが劇場。

腹話術師・パロー Ladies & Gentlemen (監) & おとちやん&おつかさん (パ) Welcome to Jizo-dori park. (師) 嘘様、長らくお待たせ致しました (パ) Just Now. First stage. (監) The show一天 guys! It's a show time! (パ) 「walkin'」! (監)

show—IK guys のトビマーイブが皆の見守るなかはじめる。曲は、
#やねぐ「walkin'」ヤード、歓声と拍手のなか終わった。

二十一、エンディング

旅支度の昭雄。そして春子。秋晴れの空。一夜明けた地蔵広場。

春子 帰つちやうんだ。

昭雄 ああ、オレの仕事はとりあえず終わつたしな。

春子 ・・・昭雄さん。

昭雄 また、来るよ。

春子 うん。でも、帰つても、こつちは売れつ子で会う暇なんかないかも。

昭雄 そうだな。そうなるといい。でも、うん、また帰つてこられそうだ。
春子 え。

昭雄 久しぶりにね、久しぶりに故郷に帰つてきた気がするんだ。

春子 それは、きっと違う。

昭雄 え。違うつて？

春子 昭雄さんが帰つてきたんじやない。故郷が帰つてきたの。商店街が、昭雄さん
の心に帰つてきたの。昭雄さんの心が、大きくなつて広くなつてこの商店
街のこと、ここの人たちのこと、わかつて受け入れて、だから商店街が帰つ
てこられたの。

昭雄 どうか。そうだな。

春子 どうしたの。

「おーい」と清があの新聞記者をひきずり連れてやってくる。

清 春子 こいつ、アーバンのスペイだつたんだ。

え。

清 春子 ほら、駅前のオレの同級生が、アーバンよく知つてるだろ。そこからわかつたんだ。

まあ、お金を預いて調査していますが、スペイはひどいな。正当な経済行為でしょ。それに地方紙の記者というのも本当ですよ。勘弁してくださいよ。スペイつて何をスペイするんだ。

昭雄 記者 だから、勘弁してくださいよ。

清 記者

清 記者

清 記者

まあ、アーバンは大資本ですからね。リスク調査といいますか・・・。ほんとに出資するだけの価値がその土地にあるか調査するわけですよ。まあ、結果、今回は見送りになりました。

春子 記者 見送りつて・・・

アーバンは、この土地に出店しないってことです。

春子 記者 ほんどうか。

ええ。自信と誇りを持つてやつてる地元の商店街とは、喧嘩しない方が特なんですよ。これまでのデータによるとね。金持ち喧嘩せず、ですね。

やつたー。

それじや、そういうことで。（と行こうとするが）あ、そうだ、忘れてました。これ。（と新聞を出す）すいませんねえ、大した新聞じやないんですけど、え

清 記者

清 記者

清 記者

「、ノノノ、ノノノ」といいます。

三人、新聞を見る。

記者

あの広場でのデビューライブ見せてもらいましたが、うん、悪くなかったなあ。実際ね。それじや。

夢中で見ている三人をおいて記者去る。

春子
(見出しへ) 地元の商店街がプロデュース。アイドルグループデビュー。(本文に)「思わぬところからアイドルが生まれようとしている。デビューアルバム『walkin'』で彼らは秋祭りの地蔵広場に季節外れの熱さを吹き込んだ。そのグループ名といい売り出しのやり方といい、素人臭さが抜けないが、そこに可能性が感じられる。The Show-天 guys (ショウで一旦切って読むこと)の名前もこのまま行けば、地元の誇りとなるだろう。自信と期待と誇りをのせて、このグループ赤丸急上昇中、要チェック」

昭雄・清・春子

(三人顔を見合わせ) よつしやあ。

三人の喜びが爆発したところで、再び「walkin'」フィナーレへ。

一一一、フィナーレ

「walkin'」が流れる。Show一夫 guys のメンバーが登場。歌い踊る。「実は、わしらも密かに練習してたんじゃ。いくぞ、show一夫 guys アダルト!」「徳さん、ゲンさん、哲、あき……年寄り連中も踊る踊る、なんてのもいい。商店街のメンバーや他の登場人物も加わって、フィナーレ。

終

「walkin.」 the show-HK guys トピハ一田

let. s walkin. 仕方ない なんじよとなこむね
流されたりつて樂じやねえ
時には立ち止まつてオーケー
でもだが それでも やしてや やれから やがて
歩きだそ う 胸いつぱいに
いつまで? ドリモドリ 明田モド
星が流れの場所モド

let. s walkin. let. s walkin. let. s walkin.

あとどれくら ドリモドリで行くのか
人の波 今日も明日も繰り返しの
でも顔を上げ 止めない 風を匂いだらめ
吹かれてじいじ 世界を回れ around the world

let. s walkin. let. s walkin. let. s walkin.

やれるよ なになんじまわせなこ
田来るよ としかでややしね
仲間がいるから救われた
でもだが それでも やしてや やれから やがて
歩きだそ う 胸いつぱいに
いつまで? ドリモドリ 明田モド
月が微笑んでる場所モド

let. s walkin. let. s walkin. let. s walkin.
涙じるれて こころやなこか

海の底 涙も汗もわかないな
飛ぶんじゃない 走るんじゃない 風や匂いも抱か
歩いていいつ 占領を回れ around the world

I 'E walker 帰るといひ you, re walker
何も持たず | et, s walkin,
両手をつづる | et, s walkin,
歩いていい | et, s walkin,
わき田わらぬ | et, s walkin,
| et, s walkin, | et, s walkin,
夜を越えろ

本作品は著作権法により保護されています。上演、掲載を、公益性の方は、作者の許可が必要となります。

連絡先 オフィスプロジェクトM

info@promstage.com